

77R&C

調査月報

2024.

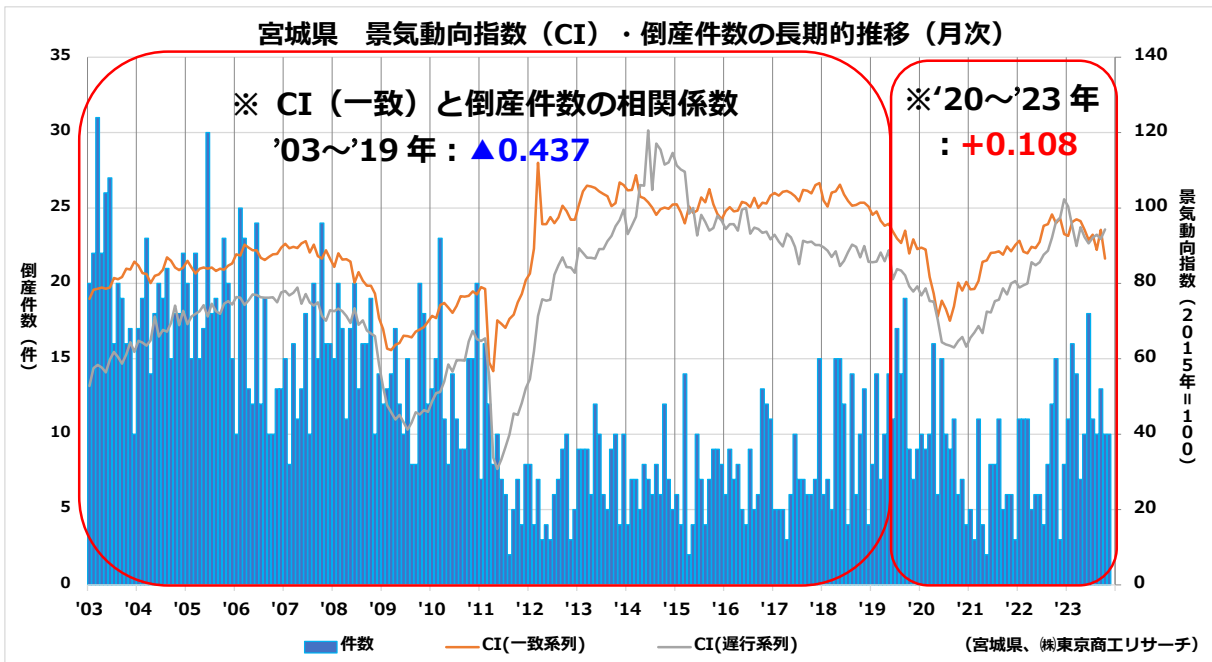
1

■ 県内経済の基調判断	1
■ 統計トピックス	12
2021年度 宮城県民経済計算	
■ 主要経済指標	16
■ 経済日誌	20
■ 年始付録	21
2023年の主な出来事	

七十七リサーチ&コンサルティング株式会社

今月のポイント

物価高や人手不足などが足かせとなりつつも、5類感染症移行に伴う経済産業活動の正常化や支援策の下支え効果などにより県内景気は持ちこたえています。ただ、長期的にみればなお低水準ながらこのところ倒産件数が増加基調にあり、法的整理以外の休業業・解散なども合わせると相当程度の企業が市場退出しているとみられます。コロナ禍以降は大幅な景気悪化・需要低迷にもかかわらず大規模な財政金融政策により「景気と倒産の関係」に異変がありました。今後は徐々にコロナ禍前の状態に戻るとみられ、この間に増加した債務の負担などから景気回復局面であっても倒産が増加する可能性に注意が必要です。



(全国、東北経済の基調判断) <要約>

	月例経済報告 (全国)	経済の動き (東北)
景気全体	このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している (12月19日)	持ち直している (12月13日)
個人消費	持ち直している	回復している
設備投資	持ち直しに足踏みがみられる	増加している
住宅投資	弱含んでいる	弱い動きとなっている
公共投資	底堅く推移している	国土強靱化関連工事や災害復旧工事から、下げ止まっている
生産	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの動きが足踏みしている
雇用	改善の動きがみられる	改善している

注) 下線部は上方修正(△)または下方修正(▽)

(出所:内閣府、日銀仙台支店)

県内経済の基調判断

最近の県内景況をみると、一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。

概況 生産は弱含みの動きとなっている。需要面の動きをみると、公共投資は下げ止まりの動きとなっている。住宅投資はこのところ反動などから減少している。個人消費は総じて緩やかに持ち直している。雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

(参考) 県内景況判断の推移

	2023年11月	12月	2024年1月
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)
生産	弱含みの動きとなっている	弱含みの動きとなっている	弱含みの動きとなっている
公共投資	弱めの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている
住宅投資	このところ反動などから減少している	このところ反動などから減少している	このところ反動などから減少している
個人消費	総じて緩やかに持ち直している	総じて緩やかに持ち直している	総じて緩やかに持ち直している
雇用情勢	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている

	2023年1~3月	4~6月	7~9月
企業状況の感	一部に弱い動きがみられるものの、総じて緩やかに持ち直している	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77BI

77BI (暫定値)は、弱めの動きとなっている。

11月の77BI (暫定値)は、前月比横ばいの99.2となった。

採用指標別にみると、宮城県消費動向指数は前月比上昇し、建築物着工床面積、有効求人倍率は前月比低下した。また、10月の鉱工業生産指数は前月比低下した。

一方、移動平均値 (3カ月後方) は、前月比0.3ポイント低下の99.7となった。

採用指標は消費動向指数 (100.8) を除いて100 (=2015年) を下回り、全般的な水準低下傾向にあります。移動平均値も暫定値ながら2021年3月以来、2年8カ月ぶりに100を下回りました。



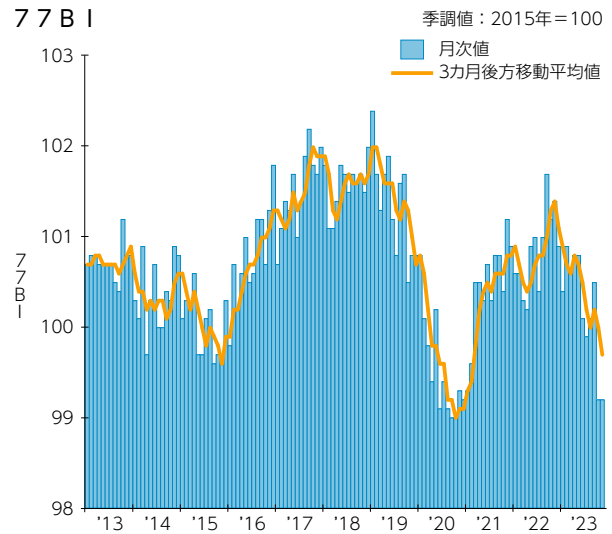
77BI (季節調整値、2015年=100)

	2023年9月	10月	11月
BI値	100.5	99.2	99.2
鉱工業生産指数	114.4	86.1	86.1
宮城県消費動向指数	100.9	100.5	100.8
建築物着工床面積	65.7	46.1	44.1
有効求人倍率	101.7	100.2	98.8

【参考】77PCI (広域圏別景気指数) (季節調整値、2020年=100、前月比:%ポイント)

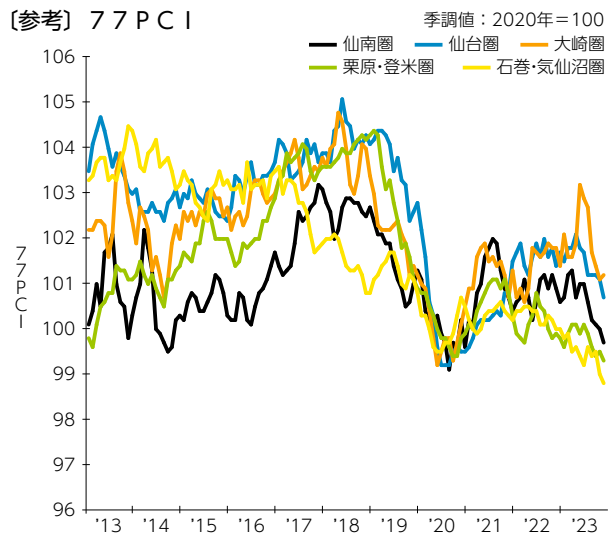
	2023年9月	10月	11月
仙南圏	▲ 0.05	▲ 0.2	▲ 0.3
仙台圏	0.03	▲ 0.1	▲ 0.4
大崎圏	▲ 0.3	▲ 0.3	0.1
栗原・登米圏	▲ 0.2	0.1	▲ 0.3
石巻・気仙沼圏	0.1	▲ 0.5	▲ 0.1

77BI



出典：当社作成 (以下も同じ)

【参考】77PCI



出典：当社作成 (以下も同じ)

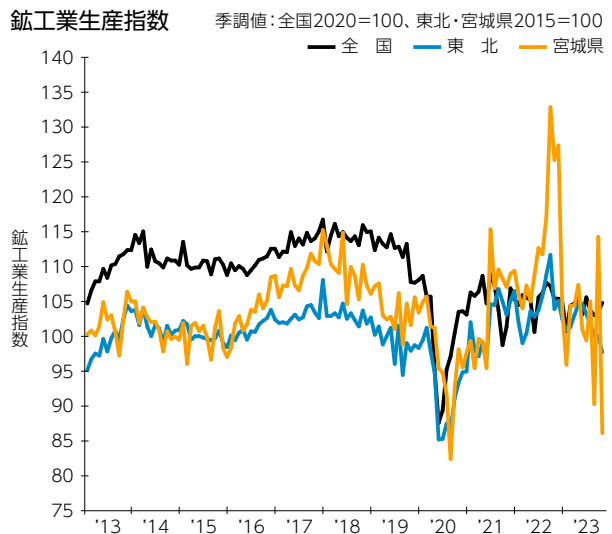
生産動向

鉱工業生産指数は、弱含みの動きとなっている。

10月の鉱工業生産指数は、前月比24.7%低下の86.1となった。業種別にみると、食料品工業が前月比マイナスとなったことなどから、2カ月ぶりに前月を下回った。

一方、前年と比較すると、食料品工業が前年を下回ったことなどから、全体では前年比30.1%の低下となり、6カ月連続して前年を下回っている。

鉱工業生産指数



出典：宮城県企画部「宮城県鉱工業生産指数」(以下も同じ)

鉱工業生産指数 (宮城県・東北2015年=100、全国2020年=100、季節調整済、前年比:%)

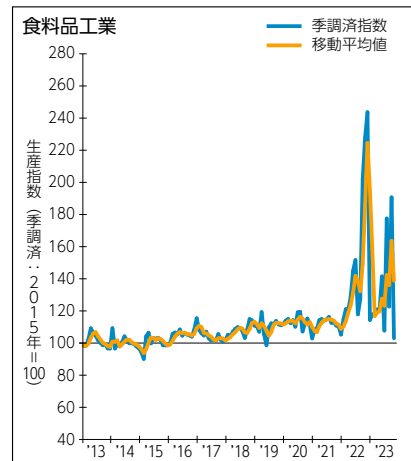
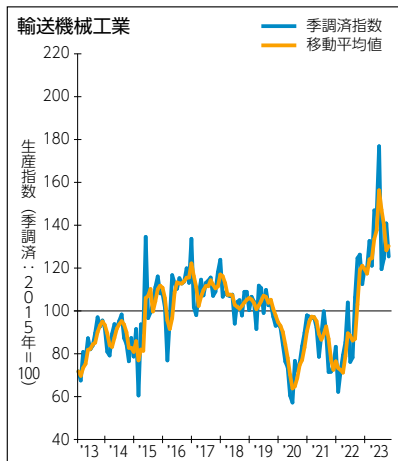
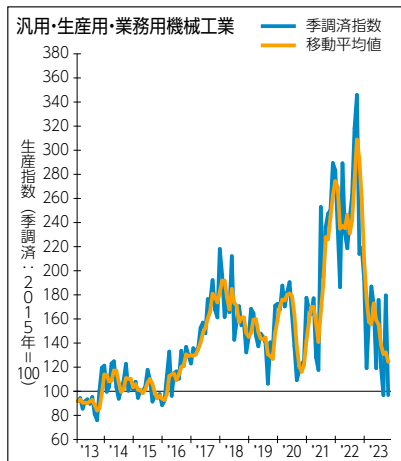
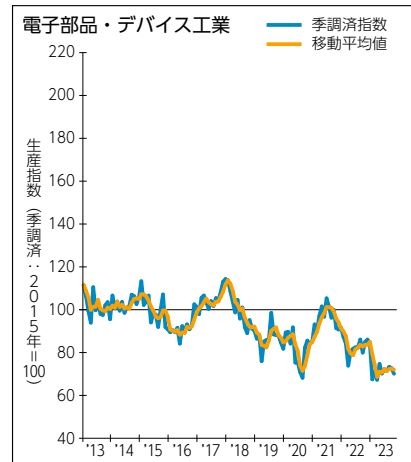
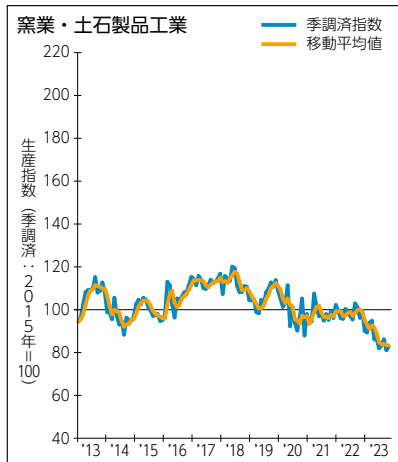
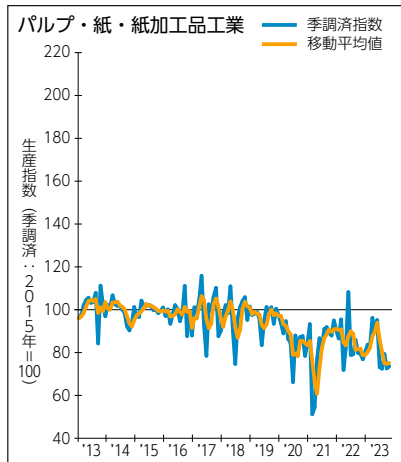
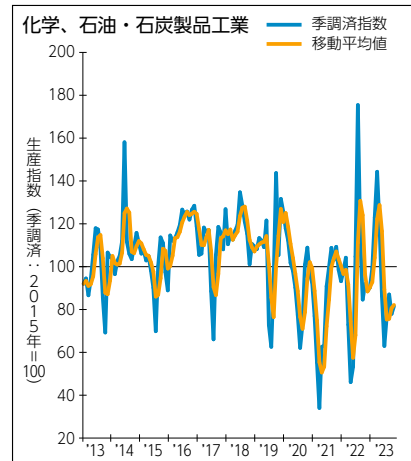
	2023年8月	9月	10月
宮城県	90.3	114.4	86.1
(前年比)	▲ 23.1	▲ 14.1	▲ 30.1
東北	100.2	100.1	97.8
(前年比)	▲ 8.0	▲ 10.7	▲ 4.4
全国	103.1	103.6	104.9
(前年比)	▲ 4.4	▲ 4.4	1.1

当月はこのところ振れの大きな食料品のほか電子部品・デバイスや汎用・生産用・業務用機械、輸送機械も前月比マイナスとなり、単月の指数では現行基準で遡及可能な2013年以降で2番目に低くなっています。



主要業種別生産動向(宮城県) (2015年=100、季節調整済、前年比:%)

業種	2023年8月	9月	10月
化学、石油・石炭製品工業	87.0	77.9	81.5
(前年比)	▲ 22.5	▲ 8.3	▲ 12.3
パルプ・紙・紙加工品工業	79.2	72.5	73.5
(前年比)	▲ 7.7	▲ 6.9	▲ 8.7
窯業・土石製品工業	86.1	81.0	82.6
(前年比)	▲ 16.3	▲ 18.5	▲ 12.2
電子部品・デバイス工業	73.2	72.6	70.0
(前年比)	▲ 15.0	▲ 12.1	▲ 15.4
汎用・生産用・業務用機械工業	96.6	179.5	96.6
(前年比)	▲ 69.6	▲ 46.7	▲ 52.4
輸送機械工業	124.5	140.9	125.4
(前年比)	17.1	8.5	1.3
食料品工業	122.7	190.8	102.9
(前年比)	▲ 3.6	▲ 2.9	▲ 54.9



建設動向

公共工事請負金額は下げ止まりの動きとなっている。住宅着工はこのところ反動などから減少している。建築物着工は総じて水準は低下基調となっている。

公共工事

11月の公共工事請負金額は、前年同月比4.1%増の188億円となり、3カ月連続して前年を上回っている。

発注者別にみると、国の機関では、同72.0%増の17億円と前年を上回った。

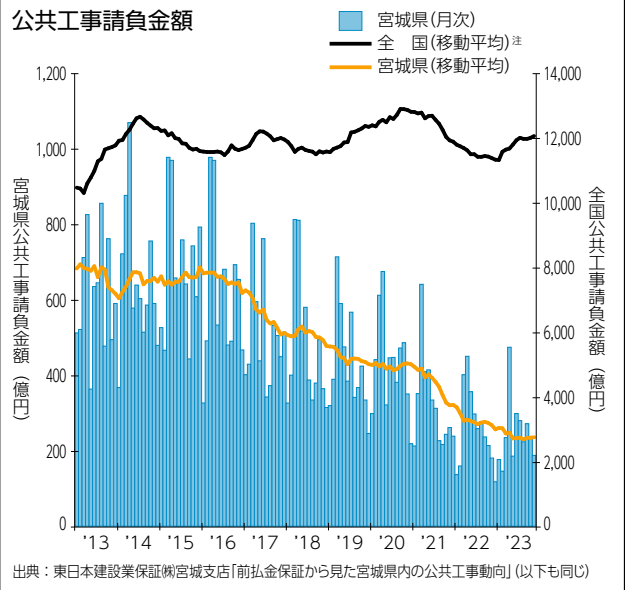
一方、地方の機関は、県が同17.8%増の61億円、市町村等は同7.6%減の110億円となり、全体で同0.1%増の171億円と前年を上回った。

また、震災前の2010年11月の請負金額(175億円)と比べた水準は7.2%増となっている。

警察庁舎新築や「道の駅」施設建設などの大型工事受注もあり、前年比プラスの3カ月連続は3年ぶりですが、水準はなお低く、勢いある回復が見通せない状況です。

CHECK!

公共工事請負金額



出典：東日本建設業保証(株)宮城支店「前払金保証から見た宮城県内の公共工事動向」(以下も同じ)

注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別) (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月
宮城県	14.6	9.2	4.1
国の機関	4.1	31.7	72.0
県	80.2	23.5	17.8
市町村等	▲ 16.6	▲ 4.0	▲ 7.6
全国	0.1	3.6	9.9

住宅建設

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比22.2%減の1,282戸(全国8.5%減、66,238戸)となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

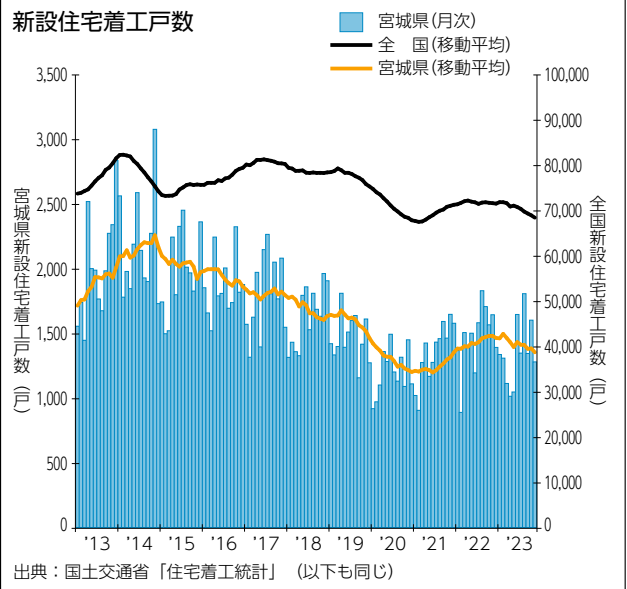
利用関係別にみると、持家が同17.9%減(294戸)、貸家が同25.8%減(740戸)、分譲が同14.5%減(248戸)と前年を下回った。

また、震災前の2010年11月の着工戸数(1,320戸)と比べた水準は2.9%減となっている。

仙台市では地上10階以上の賃貸マンションが2棟着工したものの前年の反動により▲28.4%となりました。なお、個人が建設主の貸家(アパート等)は11月までの暦年累計(3,445戸)となり、2019年(計3,577戸)を上回る見通しです。

CHECK!

新設住宅着工戸数



出典：国土交通省「住宅着工統計」(以下も同じ)

新設住宅着工戸数(利用関係別) (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月
宮城県	▲ 21.2	2.3	▲ 22.2
持家	▲ 6.9	▲ 30.6	▲ 17.9
貸家	7.8	13.5	▲ 25.8
分譲	▲ 63.9	17.5	▲ 14.5
全国	▲ 6.8	▲ 6.3	▲ 8.5

新設住宅着工戸数(市部・郡部別) (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月
市部	▲ 25.8	0.7	▲ 26.7
うち仙台市	▲ 23.6	7.9	▲ 28.4
うち仙台市以外	▲ 30.8	▲ 16.0	▲ 22.6
郡部	12.3	13.7	18.0

建築物着工

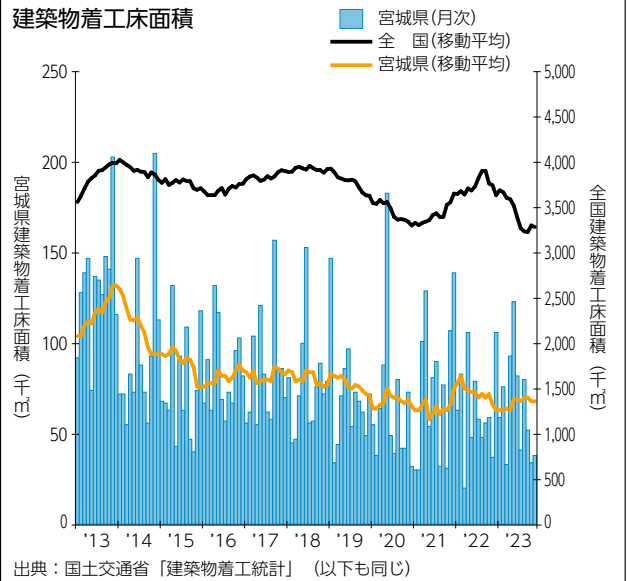
11月の建築物着工（民間非居住用）は、床面積が前年同月比4.5%増の38千㎡、工事費予定額は同16.8%増の96億円となり、床面積、工事費予定額とも3カ月ぶりに前年を上回った。

用途別に床面積をみると、事務所（10千㎡：前年同月比54.6%増）などが前年を上回った。

2カ月連続して30千㎡台となったのは2年8カ月ぶりです。2024年問題を見据えた物流施設の着工も一服し、仙台市内の再開発や進出企業の工場立地などの大型プロジェクト始動までは低調な水準で推移するとみられます。



建築物着工床面積



出典：国土交通省「建築物着工統計」（以下も同じ）

建築物着工床面積(用途別) (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月
宮城県	▲ 7.5	▲ 41.9	4.5
事務所	▲ 82.2	▲ 7.5	54.6
店舗	3.3倍	4.4倍	▲ 67.9
工場	62.8	4.7倍	23.0
倉庫	▲ 39.4	▲ 87.9	▲ 0.6
その他	20.9	35.9	▲ 7.7
全国	▲ 2.0	26.9	▲ 6.6

建築物着工工事費予定額(用途別) (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月
宮城県	▲ 1.7	▲ 15.0	16.8
事務所	▲ 81.8	32.8	56.1
店舗	4.3倍	5.3倍	▲ 3.3
工場	2.5倍	6.4倍	▲ 3.7
倉庫	▲ 56.6	▲ 89.3	1.1
その他	86.1	2.2倍	27.0
全国	24.0	34.7	8.4

消費動向

宮城県消費動向指数は持ち直しの動きに足踏みがみられ、小売業主要業態販売は底堅さがうかがわれる。乗用車新車販売は緩やかに持ち直している。

消費動向指数

11月の宮城県消費動向指数は、前月比0.3ポイント上昇の100.8となり、3カ月ぶりに上昇した。

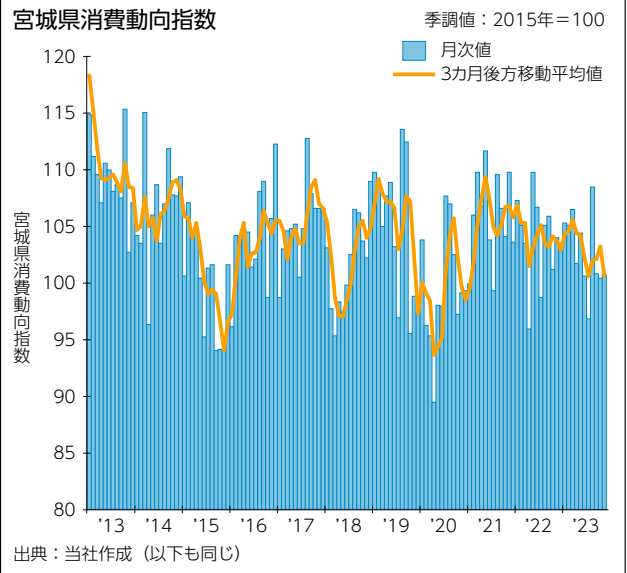
消費費目別にみると、「被服及び履物」「教養娯楽」などが上昇した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比2.6ポイント低下の100.7となった。

物価上昇の続く「食料」が低下の一方、「教養娯楽」「被服及び履物」などは堅調です。実質賃金が伸びない中で生活必需品の節約と嗜好消費への支出のメリハリが効いており、全体としては横ばい圏内で推移しています。



宮城県消費動向指数



出典：当社作成（以下も同じ）

宮城県消費動向指数 (季節調整値、2015年=100)

	2023年9月	10月	11月
消費動向指数	100.9	100.5	100.8
家賃指数	110.3	110.4	110.4
乗用車販売指数	83.1	93.3	92.8
コア消費支出指数	109.0	110.7	110.3

※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

小売業主要業態販売

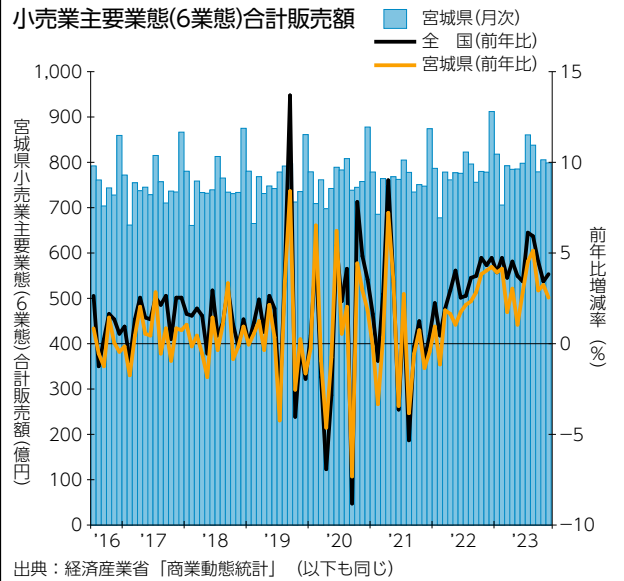
11月の小売業主要業態(6業態)の合計販売額(全店ベース)は、前年同月比2.6%増の802億円(全国3.9%増、4兆2,141億円)となり、21カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同3.9%増の346億円(全国4.6%増)となり、12カ月連続して前年を上回っている。コンビニエンスストアは同0.1%増の197億円(全国0.1%増)となり、21カ月連続して前年を上回っている。家電大型専門店は同6.8%減の59億円(全国3.3%増)となり、6カ月ぶりに前年を下回った。ドラッグストアは同8.4%増の144億円(全国9.0%増)となり、32カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同0.5%増の56億円(全国3.1%増)となり、4カ月ぶりに前年を上回った。

前月まで5カ月連続のプラスだった家電が息切れしましたが、他の5業態はプラスとなり、値上げによる名目販売額の増加とはいえ全体としてはなお底堅さを保っています。



小売業主要業態(6業態)合計販売額



小売業主要業態販売額 (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月
6業態合計(宮城県)	3.0	3.3	2.6
百貨店・スーパー	2.2	3.4	3.9
コンビニエンスストア	2.3	1.9	0.1
家電大型専門店	4.3	2.7	▲ 6.8
ドラッグストア	9.7	9.2	8.4
ホームセンター	▲ 6.7	▲ 4.8	0.5
6業態合計(全国)	4.6	3.5	3.9

注) 全店ベース

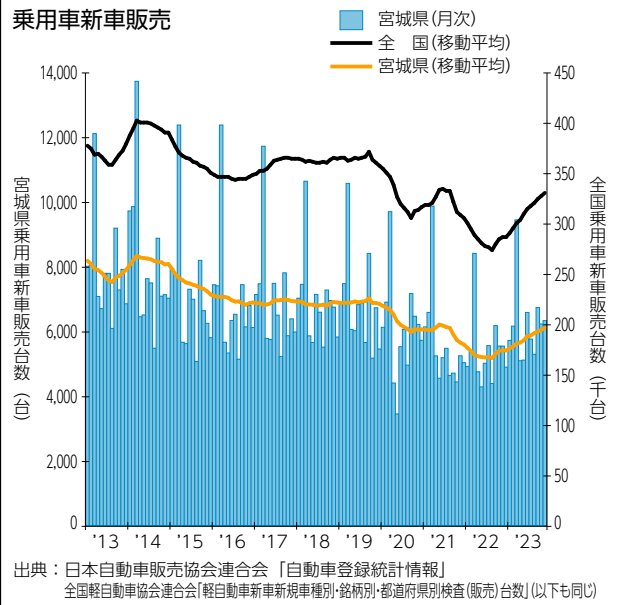
乗用車新車販売

11月の乗用車新車販売台数は、前年同月比14.2%増(全国11.7%増)の6,344台となり、11カ月連続して前年を上回っている。車種別にみると、普通車は、同38.3%増(全国31.2%増)の2,591台となり、11カ月連続して前年を上回っている。小型車は、同7.5%減(全国5.2%減)の1,489台となり、6カ月ぶりに前年を下回った。また、軽乗用車は、同9.3%増(全国3.7%増)の2,264台となり、前月に引続き前年を上回っている。

供給制約の緩和による緩やかな持ち直しが続く一方で、部品・資材高を背景とした販売価格上昇による需要の下押しなどもみられるようになっており、今後も回復の足取りは重いものとなる見通しです。



乗用車新車販売



乗用車新車販売台数 (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月
宮城県	9.1	12.3	14.2
普通車	18.4	27.6	38.3
小型車	8.9	1.7	▲ 7.5
軽乗用車	▲ 0.5	6.2	9.3
全国	11.8	13.1	11.7

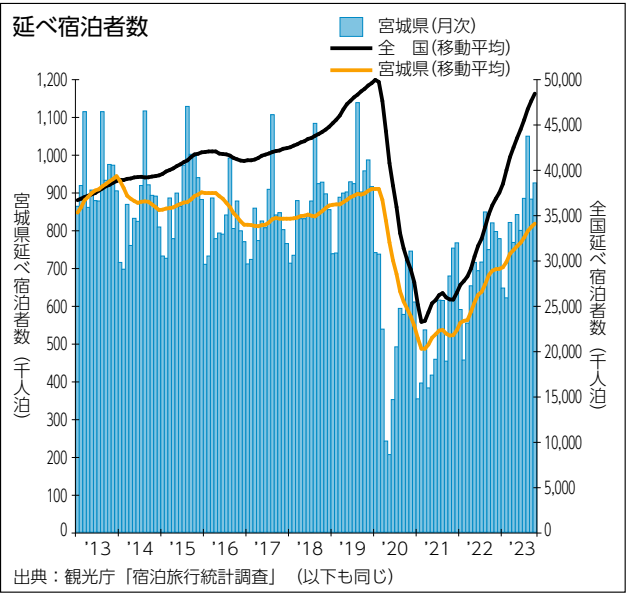
観光動向

10月の延べ宿泊者数は、前年同月比12.9%増の927千人泊となり、24カ月連続して前年を上回っている。

居住地別にみると、県内宿泊客は同12.7%減の204千人泊と3カ月連続して前年を下回っており、県外宿泊客は同14.0%増の638千人泊と19カ月連続して前年を上回っている。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同7.4倍の72千人泊となり、15カ月連続して前年を上回っている。

2019年10月には台風19号被害やラグビーW杯開催などの特殊要因があるため単純比較は難しいものの県内客は6.8%減でしたが、県外客(同3.1%増)・外国人(同5.4%増)は上回っています。



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

	2023年8月	9月	10月
宮城県	1,051	884	927
うち県内客	241	219	204
うち県外客	725	611	638
うち外国人	48	40	72
全国	61,024	50,318	53,778
うち外国人	10,095	9,819	12,259

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

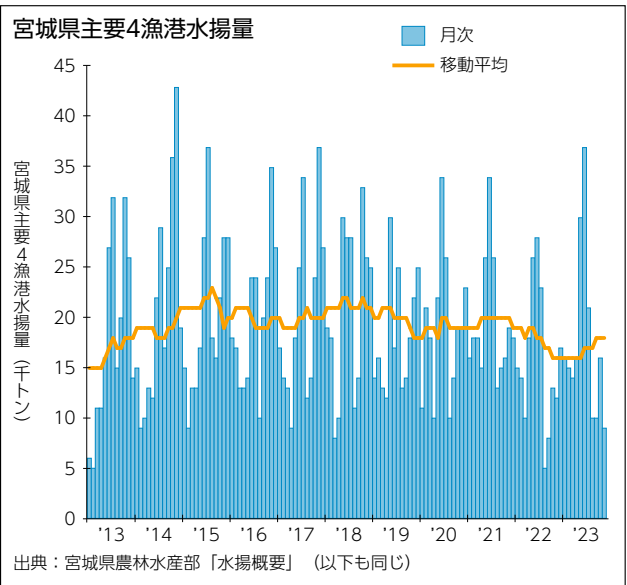
	2023年8月	9月	10月
宮城県	23.7	17.8	12.9
うち県内客	▲ 8.8	▲ 6.9	▲ 12.7
うち県外客	28.4	22.3	14.0
うち外国人	8.1倍	9.5倍	7.4倍
全国	30.2	27.9	22.0
うち外国人	14.0倍	11.9倍	5.9倍

水産動向

11月の主要4漁港(塩釜、石巻、気仙沼、女川)における水揚げは、数量が前年同月比23.2%減の9千トン、金額が同9.1%増の44億円となり、数量は4カ月ぶりに前年を下回り、金額は12カ月連続して前年を上回っている。

魚種別にみると、数量はサバなどが減少し、金額はマグロ類などが増加した。

漁港別にみると、数量は女川が前年を上回ったが、塩釜、石巻、気仙沼が前年を下回った。金額は全ての漁港が前年を上回った。



主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月
合計	27.7	25.3	▲ 23.2
塩釜	10.0	2.1倍	▲ 15.6
石巻	23.6	▲ 0.1	▲ 29.1
気仙沼	40.1	50.4	▲ 23.5
女川	3.8	17.8	8.9

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月
合計	33.1	41.3	9.1
塩釜	14.4	50.6	32.8
石巻	47.3	22.8	4.6
気仙沼	42.6	62.8	0.5
女川	▲ 14.6	▲ 5.8	3.7

貿易動向

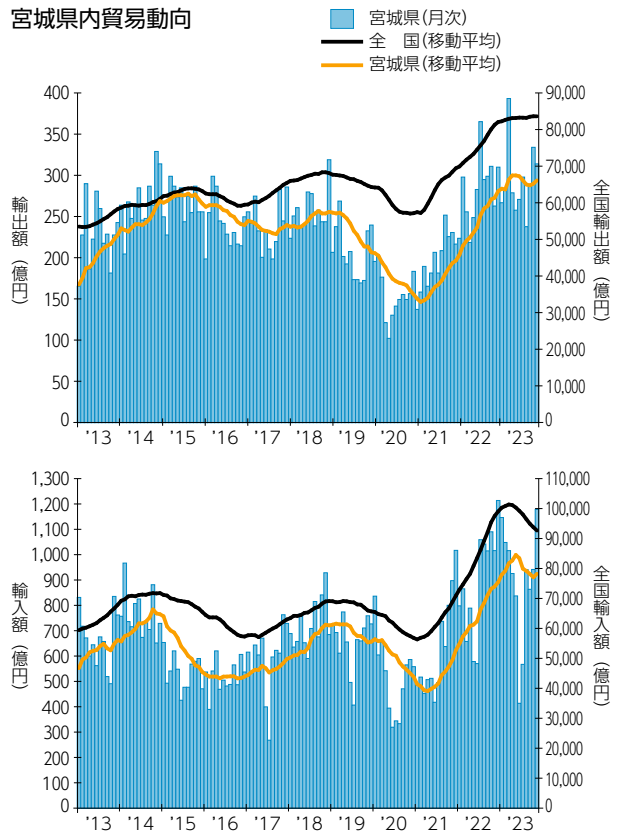
11月の貿易額(仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績)は、輸出が前年同月比19.5%増の313億円、輸入が同16.0%増の1,175億円となった。

輸出は石油製品が増加したことなどから前月に引続き前年を上回っている。一方、輸入は原油・粗油が増加したことなどから6カ月ぶりに前年を上回った。

輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2023年9月	10月	11月
宮城県	輸出	▲ 3.4	7.4	19.5
	輸入	▲ 15.0	▲ 13.7	16.0
全国	輸出	4.3	1.6	▲ 0.2
	輸入	▲ 16.5	▲ 12.5	▲ 11.9

宮城県内貿易動向



出典：横浜税関「横浜税関管内貿易速報」(以下も同じ)

物価動向

11月の仙台市消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比3.4%上昇の108.4となり29カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」などが上昇した。

物価上昇は「生鮮食品を除く食料」がピークアウトする一方、人手不足により労働集約型サービス(外食・宿泊料など)で圧力が強まっており、政策で抑制されたエネルギー関連とともに今後の動向が注目されます。

消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月
生鮮食品を除く食料	9.3	8.9	7.9
住居	2.5	1.8	1.7
光熱・水道	▲ 12.0	▲ 7.5	▲ 9.1
家具・家事用品	6.1	3.7	3.8
被服および履物	3.5	3.4	3.5
保健医療	3.6	3.9	3.6
交通・通信	4.5	4.4	3.3
教育	0.3	0.3	0.3
教養娯楽	4.9	7.7	9.2
諸雑費	1.3	1.2	1.5

仙台市消費者物価指数



注) 生鮮食品除く総合
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」(以下も同じ)

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月
仙台市	3.5	3.8	3.4
全国	2.8	2.9	2.5

雇用動向

雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

11月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求人数が減少したことなどから、前月比0.02ポイント低下の1.32倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて卸売業・小売業などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、仙台（1.56倍）、大和、築館（ともに1.51倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.68倍）、塩釜（0.78倍）などは1倍を下回っている。

有効求人倍率は直近ピーク（2023年2月）から0.13ポイント低下。この間に有効求人数は6.9%減少しており、5類感染症移行による人手不足にもかかわらず求人が増えず、心配な状況です。

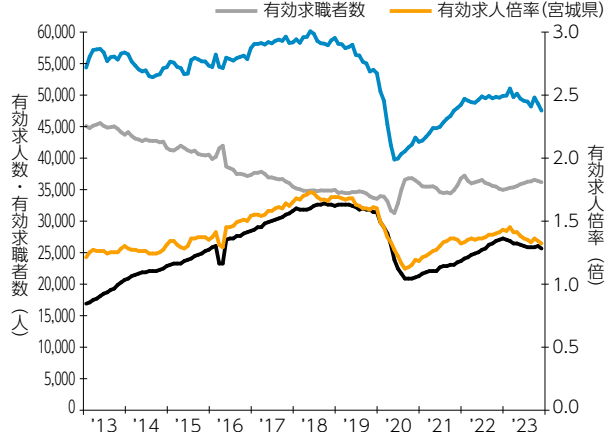


有効求人倍率等 (倍、%)

	2023年9月	10月	11月
有効求人倍率(宮城県)	1.36	1.34	1.32
(全国)	1.29	1.30	1.28
新規求人数(前年比)(宮城県)	3.8	▲ 5.6	▲ 7.2

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

雇用動向



出典：宮城労働局「宮城県の一般職業紹介状況」（以下も同じ）

職業安定所別有効求人倍率 (原数値、倍)

	2023年9月	10月	11月
気仙沼	1.22	1.20	1.19
石巻	1.36	1.36	1.47
塩釜	0.78	0.80	0.78
仙台	1.55	1.56	1.56
大和	1.38	1.48	1.51
古川	1.11	1.09	1.12
築館	1.54	1.54	1.51
迫	0.92	0.96	0.93
大河原	0.68	0.68	0.68
白石	1.44	1.45	1.45

倒産動向

11月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比3.3倍の10件、負債額では同69.0%減の24億円となった。

倒産企業を業種別にみると、建設業、サービス業他が各4件などとなっている。

主因別では、販売不振が9件、他社倒産の余波が1件となっている。

地域別では、仙台市が5件、石巻市が2件などとなっている。

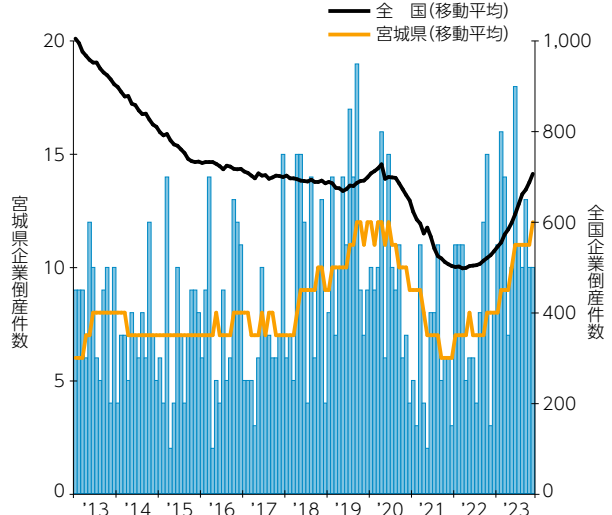
11月までの累計件数（130件）ですでに前年比30件増となっています。今後も物価高・人手不足・ゼロゼロ融資の返済負担など資金繰りを悪化させる要因は続く見通しであり、企業倒産は増加基調を辿ると考えられます。



企業倒産件数・負債額 (件、百万円)

	2023年9月	10月	11月	
宮城県	件数	13	10	10
	負債額	3,066	1,090	2,416
全国	件数	720	793	807
	負債額	691,942	308,010	94,871

宮城県企業倒産件数



出典：(株)東京商工リサーチ「倒産月報(宮城県企業倒産状況）」（以下も同じ）

企業倒産件数・負債額 (前年比、%)

	2023年9月	10月	11月	
宮城県	件数	8.3	▲ 33.3	3.3倍
	負債額	5.5倍	▲ 54.3	▲ 69.0
全国	件数	20.2	33.1	38.9
	負債額	4.8倍	3.5倍	▲ 17.9

人口動向

12月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比15,525人減の226万2,002人となり、32カ月連続して前年を下回っている。

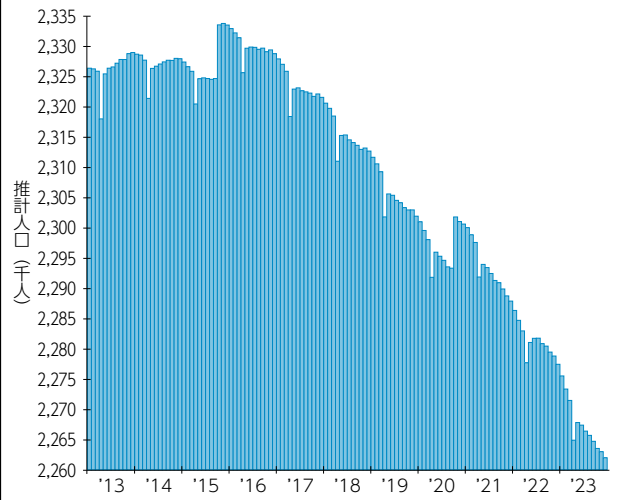
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万6,594人減、社会増減は1,069人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、名取市（63人増）、富谷市（40人増）の2市、減少したのは石巻市（2,108人減）、大崎市（1,717人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では8万4,851人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（5万1,299人増）、名取市（5,260人増）など7市町村では増加したが、石巻市（2万6,528人減）、気仙沼市（1万5,911人減）など28市町では減少している。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口 (人)

	2023年10月	11月	12月
総人口	2,263,552	2,263,013	2,262,002
自然増減	▲ 1,209	▲ 1,394	▲ 1,408
社会増減	25	855	397

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

(人)

	2011年3月 ①	2022年12月 ②	2023年12月 ③	前年比 ③-②	震災前比 ③-①		2011年3月 ①	2022年12月 ②	2023年12月 ③	前年比 ③-②	震災前比 ③-①
宮城県	2,346,853	2,277,527	2,262,002	▲ 15,525	▲ 84,851	村田町	11,939	10,289	10,090	▲ 199	▲ 1,849
仙台市	1,046,737	1,099,352	1,098,036	▲ 1,316	51,299	柴田町	39,243	37,632	37,513	▲ 119	▲ 1,730
石巻市	160,394	135,974	133,866	▲ 2,108	▲ 26,528	川崎町	9,919	8,038	7,884	▲ 154	▲ 2,035
塩釜市	56,221	51,149	50,701	▲ 448	▲ 5,520	丸森町	15,362	11,475	11,178	▲ 297	▲ 4,184
気仙沼市	73,154	58,555	57,243	▲ 1,312	▲ 15,911	亘理町	34,795	32,909	32,723	▲ 186	▲ 2,072
白石市	37,273	31,577	30,852	▲ 725	▲ 6,421	山元町	16,608	11,714	11,545	▲ 169	▲ 5,063
名取市	73,603	78,800	78,863	63	5,260	松島町	15,014	12,948	12,697	▲ 251	▲ 2,317
角田市	31,188	26,983	26,621	▲ 362	▲ 4,567	七ヶ浜町	20,353	17,660	17,429	▲ 231	▲ 2,924
多賀城市	62,990	62,726	62,577	▲ 149	▲ 413	利府町	34,279	35,153	35,044	▲ 109	765
岩沼市	44,160	43,768	43,529	▲ 239	▲ 631	大和町	25,366	28,749	28,494	▲ 255	3,128
登米市	83,691	73,423	71,921	▲ 1,502	▲ 11,770	大郷町	8,871	7,607	7,471	▲ 136	▲ 1,400
栗原市	74,474	61,893	60,519	▲ 1,374	▲ 13,955	大衡村	5,361	5,622	5,527	▲ 95	166
東松島市	42,840	38,471	37,902	▲ 569	▲ 4,938	色麻町	7,406	6,412	6,293	▲ 119	▲ 1,113
大崎市	134,950	124,459	122,742	▲ 1,717	▲ 12,208	加美町	25,421	21,096	20,747	▲ 349	▲ 4,674
富谷市	47,501	51,487	51,527	40	4,026	涌谷町	17,399	14,694	14,417	▲ 277	▲ 2,982
蔵王町	12,847	10,980	10,793	▲ 187	▲ 2,054	美里町	25,055	23,276	22,977	▲ 299	▲ 2,078
七ヶ宿町	1,664	1,206	1,161	▲ 45	▲ 503	女川町	9,932	6,164	6,086	▲ 78	▲ 3,846
大河原町	23,465	23,551	23,513	▲ 38	48	南三陸町	17,378	11,735	11,521	▲ 214	▲ 5,857

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）
 自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数

統計トピックス

2021年度 宮城県民経済計算

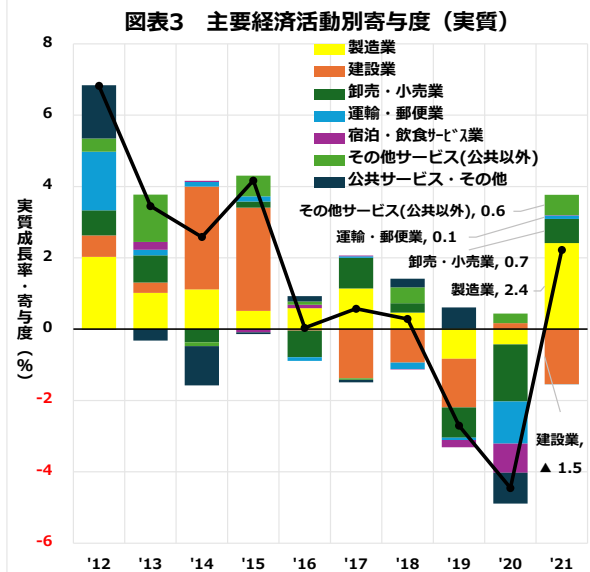
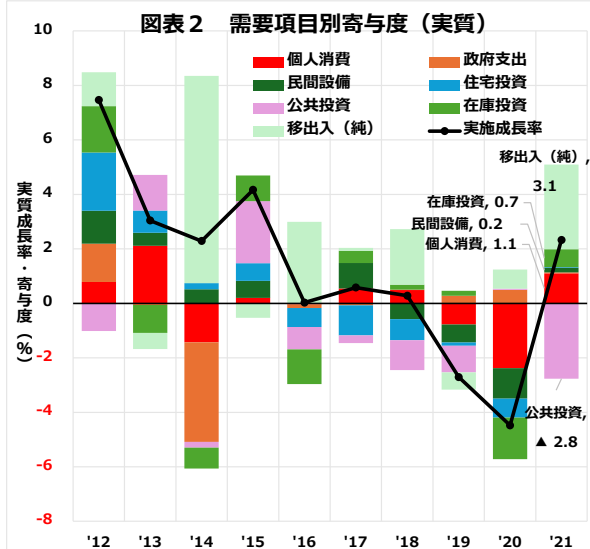
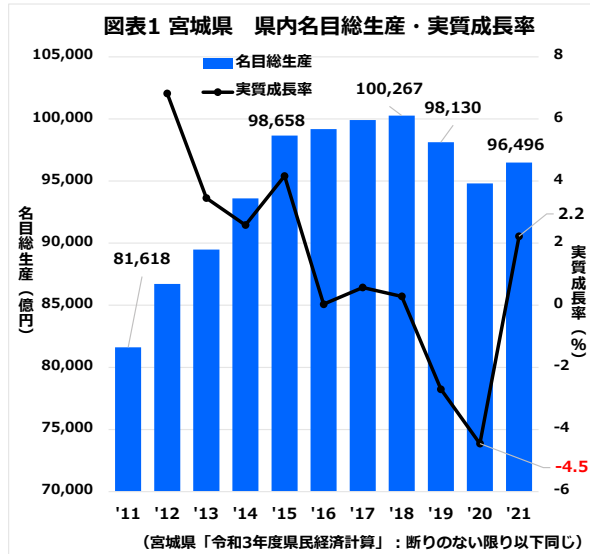
宮城県は 2021 年度の県民経済計算を
発表した。

2021 年度の名目県内総生産（**図表 1**）
は前年度比 1.8%増（前年度：3.4%減）
の 9 兆 6,496 億円となった。実質でも
2.2%増（同 4.5%減）となり、名目・実
質ともに 4 年ぶりのプラス成長である。

ただ、名目総生産額はピークの 2018
年度（10 兆 267 億円）との比較では
3.8%減となっており、2015 年度（9 兆
8,658 億円）の水準にも回復していない。

需要項目別の増減寄与度（実質）（**図表
2**）をみると、個人消費（1.1%）や在庫
投資（0.7%）などがプラス寄与の一方、
公共投資（▲2.8%）のマイナス寄与が大
きくなっている。COVID-19 の発生から
2 年目を迎え、ワクチン接種の開始や「新
しい生活様式」の提唱など感染予防と経
済活動の両立が目指されたが、周期的な
感染拡大に需要回復は手探りを続けたほ
か、発災から 10 年を迎えた東日本大震
災の復興事業関連予算が縮小したことな
どにも下押しされた。

主要経済活動別の増減寄与度（**図表 3**）
もそれを反映し、「卸売・小売業」（0.7%）
は巣ごもり需要などで伸びたものの、「運
輸・郵便業」（0.1%）や「宿泊・飲食サ
ービス業」（0.01%）などサービス消費関
連は持ち直しの足取りが重く、「建設業」
（▲1.5%）は震災復興需要の反動に加
え、資材の価格高騰・供給遅滞による建
設投資の先送り・見送りなども影響した
と考えられる。「製造業」（2.4%）はリ
モート会議の急速な普及に伴う ICT（デジ
タル）需要の増加などにより大幅に伸
長したが、全体としては勢いを欠いた。

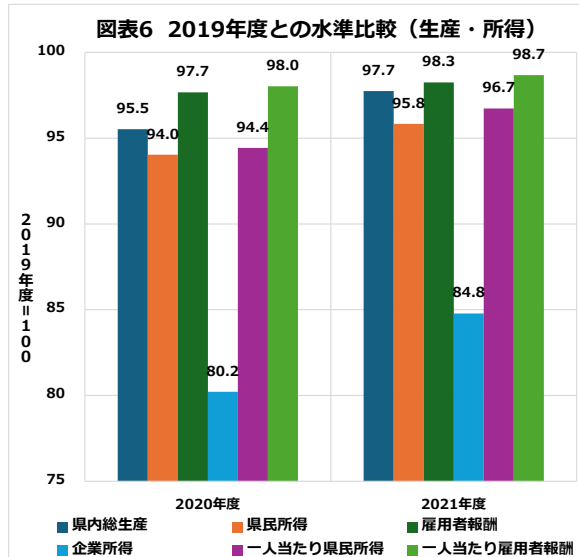
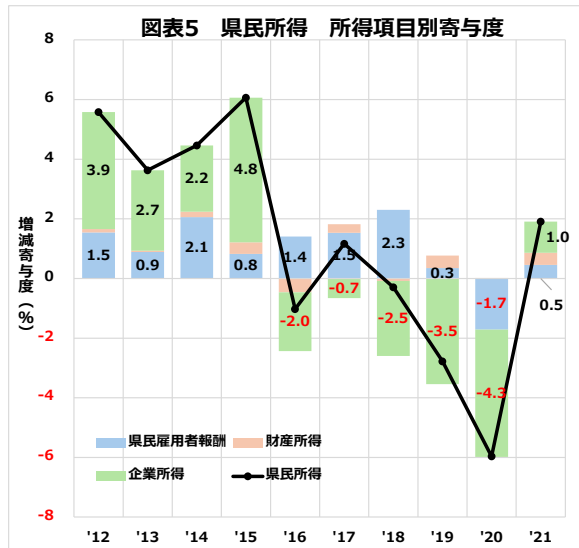
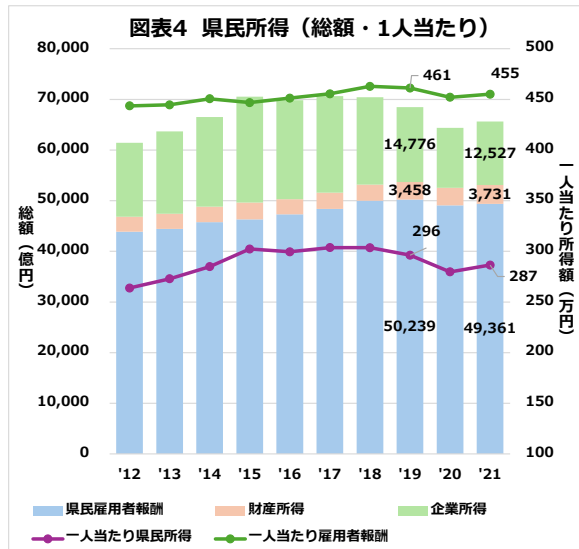


また、2021年度の県民所得(図表4)は前年度比1.9%増の6兆5,619億円となり4年ぶりの増加となった。

項目別では県民雇用者報酬(以下、単に「雇用者報酬」)が同0.6%増(4兆9,361億円)、企業所得が同5.7%増(1兆2,527億円)、財産所得が同7.5%増(3,731億円)といずれもプラスとなったが、2019年度との比較では雇用者報酬が1.7%減、企業所得は15.2%減とCOVID-19発生以前の水準には戻っていない。同様に2021年度の一人当たり県民所得(287万円)、一人当たり雇用者報酬(455万円)も前年を上回ったものの、2019年度の水準を下回っている。

県民所得の項目別増減寄与度(図表5)をみると、企業所得は東日本大震災以降の復興需要がピークアウトした2016年度以降は減少しており2021年度はCOVID-19発生による落ち込みの反動で6年ぶりの増加となった。一方、雇用者報酬は復興景気や人手不足による賃金上昇などにより増加基調で推移し、2021年度は2年ぶりの増加となっている。

2020年度以降の生産・所得水準の低落・回復状況(2019年度=100)(図表6)を各指標でみると、最も回復が早いのは「一人当たり雇用者報酬(2021年度:98.7)」で、最も遅れているのは「企業所得(同84.8)」となっており、県内の企業所得はCOVID-19以降がゼロ成長だったと仮定した場合と比較し、2年間累計で5,172億円減少したこととなり、同様に算出した雇用者報酬(2,051億円減少)と比べても大きな下押しのインパクトがあったと言える。

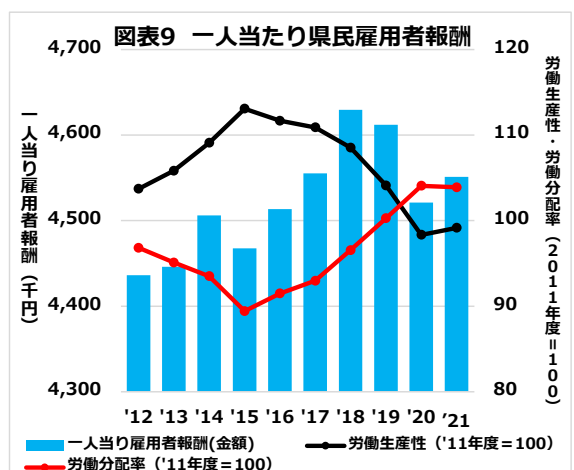
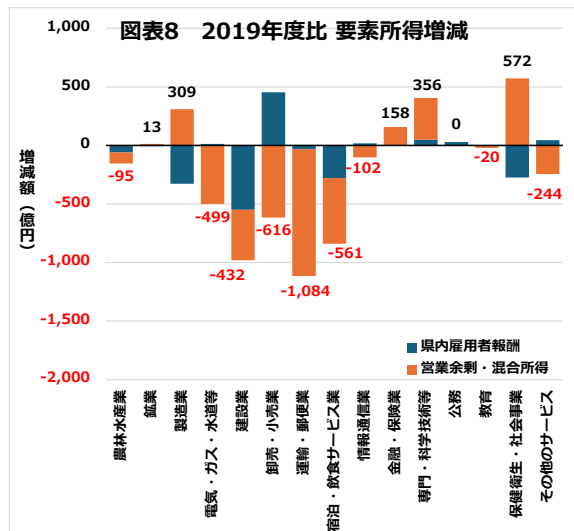
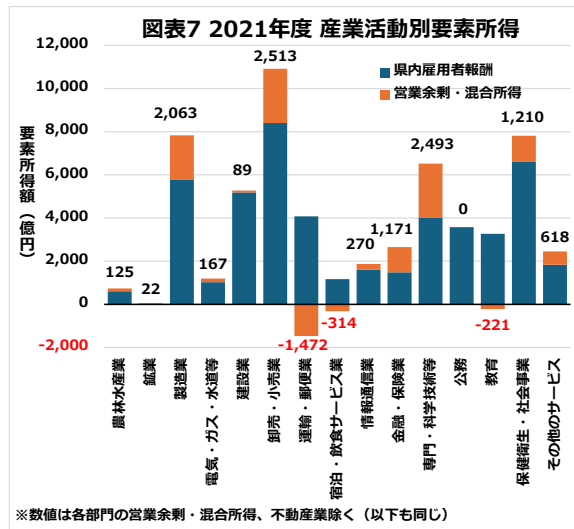


企業・家計の所得状況について産業活動（産業）別の要素所得（図表7）により詳しくみると、企業所得は「運輸・郵便業」で▲1,472億円とマイナス幅が最も大きく、次いで「宿泊・飲食サービス業」（▲314億円）、「教育」（▲221億円）など、対面・集合型のサービス消費産業では赤字となっている。

2019年度比の要素所得増減（図表8）をみると、企業所得では「保健衛生・社会事業」（572億円増）、「専門・科学技術、業務支援サービス業」（356億円増）、「製造業」（309億円増）、「金融・保険業」（158億円増）以外の部門がすべてマイナス（赤字）となっており、その減少額の合計（不動産業を除く）は3,652億円に及び、増加額の合計（1,408億円）を大きく上回っている。

なお、雇用者報酬の増減（図表8）をみると、企業所得が増加している「製造業」（▲327億円）や「保健衛生・社会事業」（▲274億円）で減少しているが、製造業では雇用者の減少、保健衛生・社会事業では感染拡大などによる厳しい事業環境を背景とした賃金低下などによるものと考えられる。一方、「卸売・小売業」（454億円増）では、雇用者数の増加が頭打ちの中で賃金上昇の動きがみられるなど、業種ごとのバラツキが大きくなっている。

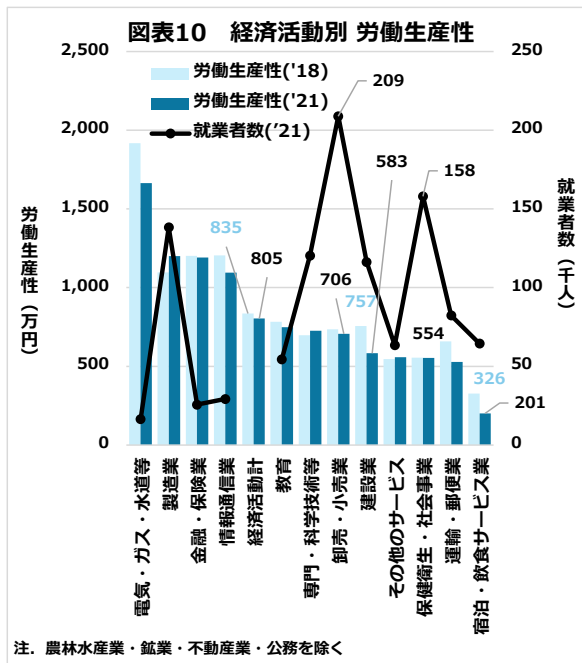
雇用者報酬（賃金）は個人消費の浮揚、地域経済の持続性のために重要な要素である。前述のように一人当たりの雇用者報酬は企業所得よりもCOVID-19の低落からの回復が早くなっているが、COVID-19発生以前からの増加トレンドに復したとの見方もできよう。一人当たり雇用者報酬は「労働生産性（一人当たりの付加価値生産額）」と「労働分配率（雇用者報酬が付加価値に占める割合）」



の2要素に分解することができるが、それぞれを「県民ベース」「純生産額ベース」に引き直して2011年度との比較推移（図表9）をみると、労働生産性が震災復興需要とともにピークアウトしており、代わって労働分配率が上昇することで一人当たりの雇用者報酬が持続的に増加していることがうかがわれる。

県内経済に限らないが、2012年頃から戦後ベビーブーム世代の退職と若年層の人口流出による人手不足問題の慢性化・深刻化に伴い賃金上昇圧力が強まっており、COVID-19による下押しは影響が長期間にわたるとはいえ自然災害に近い一時的な要因であるため、今後ともそのトレンドは変わりなく、むしろ強まる可能性が高い。前述のように企業所得が減少基調（前掲：図表5）を辿るもて労働分配率は限界に近づいてきており、今後の雇用者報酬の増加は労働生産性の上昇にかかっている。

そこで2021年度の労働生産性を経済活動別（農林水産業・鉱業・不動産業・公務を除く）（図表10）にみると、経済活動計（805万円）を上回るのは「電気・ガス・水道・廃棄物処理業」（1,665万円）、「製造業」（1,200万円）、「金融・保険業」（1,190万円）、「情報通信業」（1,096万円）の4産業のみで、その就業者数は19.5%となっている。就業者数が最大（209千人）の「卸売・小売業」（706万円）が経済活動計比▲12.3%、「保健・衛生・社会事業」（158千人：554万円）が同▲31.1%など労働集約型の産業で総じて低く、「宿泊・飲食サービス業」は2018年度（326万円）でも同▲61.0%とCOVID-19発生以前から極めて低位であった。また、「建設業」（583万円）は2018年度比で▲23.0%と大幅に低下しており、震災復興需要の反動が顕著である。



労働生産性はCOVID-19による足踏みがあったとはいえ、総じて改善に向けた動きが鈍い状況である。最近の重要な経済課題の一つは「賃上げ」であるが、生産性向上を伴わず、企業所得を犠牲にした賃上げに持続性がないのは言うまでもない。ただ、長期間にわたる「賃金・物価が不変」というノルム（社会規範）が根強いわが国では、労働生産性の向上を分子（付加価値額）の増加ではなく分母（労働投入量・人件費）の減少で達成しようとする向きもあるが、課題解決から遠ざかる“逆走”である。

輸入インフレという“外圧”によってノルムが変わり始めた今こそ、機を逸することなく品質に見合った適正価格が確保されるように政策資源が総動員され、人口減少社会では持続性のない「安売り経済」からの脱却を図ることが望まれる。

主要経済指標

	人口 宮城県 (千人)	世帯数 宮城県 (千世帯)	77BI (2015年 =100)	景気動向指数(CI)			鉱工業生産指数(宮城県・東北2015年=100、全国2020年=100、季節調整値)									
				先行系列		一致系列	宮城県	東北	全国	前期(月)比(%)			前年比(%)			
				宮城県	全国	宮城県				宮城県	東北	全国	宮城県	東北	全国	
2021年	2,248	1,011	100.4											8.0	10.6	5.4
2022年	2,233	1,020	100.8											8.7	1.7	-0.1
2020年度	2,252	1,004	99.4											-7.6	-6.5	-9.5
2021年度	2,240	1,013	100.6											10.5	10.8	5.5
2022年度	2,223	1,021	100.9											6.8	1.9	-0.3
'22年7~9月	2,238	1,020	101.0				120.8	108.9	107.1	10.9	5.2	3.1		13.6	4.6	4.0
10~12月	2,233	1,020	101.1				118.9	103.9	105.3	-1.6	-4.6	-1.7		12.4	-1.1	-0.2
'23年1~3月	2,223	1,021	100.6				101.7	101.8	103.4	-14.5	-2.0	-1.8		-3.3	1.9	-1.3
4~6月	2,224	1,026	100.5				102.7	104.2	104.8	1.0	2.4	1.4		-5.4	1.1	1.0
7~9月	2,220	1,026	100.2				103.3	100.7	103.5	0.6	-3.4	-1.2		-14.4	-7.6	-3.6
2022年11月	2,235	1,020	101.4	119.5	113.9	97.3	127.6	105.2	105.5	1.7	1.2	0.0		22.8	1.7	-1.4
12月	2,233	1,020	100.9	123.3	113.6	93.1	103.5	102.5	104.9	-18.9	-2.6	-0.6		-6.4	-5.0	-2.2
2023年1月	2,231	1,019	100.4	121.9	111.9	92.6	96.0	101.0	100.8	-7.2	-1.5	-3.9		-9.6	-0.8	-2.8
2月	2,229	1,019	100.9	125.7	114.5	96.3	104.5	101.4	104.5	8.9	0.4	3.7		2.3	3.7	-0.6
3月	2,223	1,021	100.6	124.0	114.5	97.0	104.5	103.1	104.8	0.0	1.7	0.3		-2.7	2.5	-0.8
4月	2,226	1,025	100.8	123.1	114.8	96.5	107.5	104.7	105.5	2.9	1.6	0.7		2.2	0.6	-0.7
5月	2,225	1,026	100.8	121.1	115.2	94.2	101.0	104.7	103.2	-6.0	0.0	-2.2		-5.5	3.4	4.2
6月	2,224	1,026	100.1	127.4	116.0	91.5	99.5	103.3	105.7	-1.5	-1.3	2.4		-11.8	-0.5	0.0
7月	2,223	1,026	99.9	114.8	114.9	92.9	105.1	101.8	103.8	5.6	-1.5	-1.8		-6.0	-3.9	-2.3
8月	2,222	1,026	100.1	119.1	115.4	88.9	90.3	100.2	103.1	-14.1	-1.6	-0.7		-23.1	-8.0	-4.4
9月	2,220	1,026	100.5	120.6	115.7	94.2	114.4	100.1	103.6	26.7	-0.1	0.5		-14.1	-10.7	-4.4
10月	2,219	1,026	99.2	116.5	115.9	86.6	86.1	97.8	104.9	-24.7	-2.3	1.3		-30.1	-4.4	1.1
11月	2,217	1,026	99.2		114.5				104.0			-0.9				-1.4
資料出所	宮城県 当社			内閣府・宮城県			経済産業省・東北経済産業局・宮城県									

注) ①人口・世帯数の暦年・年度の数値はそれぞれ12月末、3月末、四半期の数値は各期末。 ②77BIは季節調整値。
③景気動向指数は全国が2020年=100、宮城県が2015年=100。

	新設住宅着工戸数(戸)														
	宮城県	東北	全国	前年比(%)											
				総戸数			持家			貸家			分譲		
宮城県	東北	全国	宮城県	東北	全国	宮城県	東北	全国	宮城県	東北	全国	宮城県	東北	全国	
2021年	16,271	47,480	856,484	12.6	6.0	5.0	9.9	5.4	9.4	19.1	6.9	4.8	6.6	7.3	1.5
2022年	17,604	47,593	859,529	8.2	0.2	0.4	-13.7	-14.3	-11.3	20.3	14.8	7.4	15.2	12.3	4.7
2020年度	14,661	44,359	812,164	-10.8	-13.8	-8.1	-7.6	-7.0	-7.1	-16.6	-23.8	-9.4	-4.8	-12.6	-7.9
2021年度	16,835	48,432	865,909	14.8	9.2	6.6	6.6	4.2	6.9	24.1	15.6	9.2	11.3	12.3	3.9
2022年度	17,599	46,601	860,828	4.5	-3.8	-0.6	-13.1	-13.4	-11.8	14.1	7.4	5.0	8.8	0.5	4.5
'22年7~9月	5,128	13,124	224,759	14.2	-1.1	0.04	-14.4	-18.1	-12.8	24.1	12.7	6.3	32.1	20.5	7.1
10~12月	4,610	11,948	216,211	-1.9	-5.3	-1.6	-19.8	-16.6	-15.7	20.3	11.3	8.4	-18.9	-8.2	1.8
'23年1~3月	3,765	9,292	201,723	-0.1	-9.6	0.6	-6.1	-6.4	-8.9	1.6	-7.0	3.0	1.9	-15.3	6.5
4~6月	3,714	11,564	207,826	-9.3	-5.5	-4.7	-20.9	-13.5	-11.9	15.7	7.5	2.0	-37.1	-8.6	-6.6
7~9月	4,507	12,692	207,481	-12.1	-3.3	-7.7	-0.4	-5.4	-8.6	2.3	19.1	-2.6	-41.5	-33.8	-13.5
2022年11月	1,647	4,031	72,372	-0.2	-5.1	-1.4	-26.6	-18.1	-15.1	24.9	14.8	11.4	-19.4	-15.9	-0.8
12月	1,394	3,834	67,249	-11.8	-2.5	-1.7	-22.0	-14.0	-13.0	-3.8	16.8	6.4	-13.1	-4.4	1.4
2023年1月	1,339	2,951	63,604	-2.3	-15.4	6.6	-4.0	-6.5	-8.3	-17.4	-22.2	4.2	29.6	-16.2	25.0
2月	1,311	2,907	64,426	47.1	2.3	-0.3	-3.5	-1.6	-4.6	68.4	10.8	4.7	76.7	-1.5	-1.8
3月	1,115	3,434	73,693	-26.1	-13.2	-3.2	-10.7	-10.1	-13.6	-16.0	-2.1	0.9	-41.6	-23.5	-0.4
4月	1,016	3,871	67,250	-27.2	-9.5	-11.9	-30.9	-8.2	-11.6	-25.2	-24.2	-2.8	-27.3	22.6	-21.8
5月	1,049	3,489	69,561	-30.3	-13.8	3.5	-26.3	-19.4	-11.5	-5.0	20.3	10.5	-58.4	-45.0	9.1
6月	1,649	4,204	71,015	37.8	7.4	-4.8	-5.1	-12.8	-12.4	90.4	37.9	-0.6	-5.7	12.9	-2.9
7月	1,350	4,109	68,151	-14.8	-3.5	-6.7	0.8	-3.1	-7.8	-8.9	14.1	1.6	-37.1	-31.5	-17.6
8月	1,810	4,527	70,389	-1.3	3.1	-9.4	4.5	1.8	-5.9	7.1	9.9	-6.2	-19.1	-7.2	-15.5
9月	1,347	4,056	68,941	-21.2	-9.3	-6.8	-6.9	-14.7	-12.3	7.8	35.3	-2.9	-63.9	-55.7	-7.3
10月	1,605	3,810	71,769	2.3	-6.7	-6.3	-30.6	-22.5	-17.2	13.5	14.7	-1.0	17.5	-12.0	-1.2
11月	1,282	3,541	66,238	-22.2	-12.2	-8.5	-17.9	-19.8	-17.3	-25.8	-8.7	-5.3	-14.5	9.3	-5.2
資料出所	国土交通省														

注) 新設住宅着工戸数の四半期の数値は当社集計。

	公共工事請負金額 (億円)						建築物着工床面積 (千㎡)				建築物着工工事費予定額 (億円)			
	宮城県	東北	全国	前年比 (%)			宮城県	全国	前年比 (%)		宮城県	全国	前年比 (%)	
				宮城県	東北	全国			宮城県	全国			宮城県	全国
2021年	3,869	17,186	142,867	-25.0	-25.7	-7.2	901	43,874	15.0	10.7	1,797	97,489	-5.6	12.5
2022年	3,090	14,170	136,174	-20.2	-17.5	-4.7	762	43,652	-15.4	-0.5	1,735	101,656	-3.4	4.3
2020年度	5,011	23,215	153,658	-1.5	13.1	2.3	788	39,980	-0.1	-7.1	1,799	87,273	-1.0	-8.0
2021年度	3,361	14,958	140,503	-32.9	-35.6	-8.6	905	43,738	14.9	9.4	1,829	95,879	1.7	9.9
2022年度	2,949	14,685	139,937	-12.3	-1.8	-0.4	764	43,296	-15.6	-1.0	1,778	103,672	-2.8	8.1
'22年7~9月	773	4,130	37,471	2.2	1.3	-1.8	162	11,642	-18.6	21.6	388	27,952	-14.9	34.9
10~12月	512	2,318	23,802	-31.3	-13.2	-5.4	202	9,559	-27.3	-25.2	429	24,256	-24.2	-15.1
'23年1~3月	558	2,645	29,368	-20.2	24.1	14.7	168	9,346	1.4	-3.7	365	25,521	13.2	9.8
4~6月	959	5,412	52,794	-13.2	-3.2	7.1	298	10,166	28.1	-20.3	934	25,607	56.5	-11.5
7~9月	776	3,707	37,944	0.4	-10.3	1.3	173	9,703	7.0	-16.7	424	27,552	9.4	-1.4
2022年11月	181	641	6,961	-31.2	-31.7	-7.6	37	3,163	-65.6	-7.3	82	7,905	-51.6	19.7
12月	118	534	6,283	-50.9	-21.1	-8.4	106	3,158	-23.7	-29.3	240	7,911	-31.4	-18.0
2023年1月	177	519	5,088	28.7	43.8	-2.3	59	3,590	-6.6	22.2	155	8,711	59.1	36.5
2月	146	661	8,978	-8.4	48.1	52.2	76	3,216	-7.5	-7.0	140	7,556	-22.3	3.6
3月	235	1,465	15,301	-41.6	10.7	5.5	33	2,540	62.6	-23.2	70	6,255	56.6	-8.4
4月	475	2,074	20,480	5.4	-16.7	1.9	93	4,348	-12.0	-3.5	195	10,215	-32.0	1.5
5月	186	1,575	14,163	-48.0	19.6	11.8	123	2,872	156.6	-22.5	185	7,334	102.8	-18.8
6月	299	1,762	18,151	0.3	-1.1	9.9	82	2,947	4.1	-35.1	554	8,057	152.9	-18.2
7月	280	1,536	13,802	8.1	9.4	6.8	41	3,195	-29.5	-31.1	96	9,510	-12.0	-14.4
8月	224	1,075	11,147	-19.0	-20.3	-3.6	80	3,280	67.9	-11.5	188	7,875	38.1	-8.8
9月	272	1,096	12,995	14.6	-20.4	0.1	52	3,228	-7.5	-2.0	140	10,168	-1.7	24.0
10月	234	957	10,933	9.2	-16.3	3.6	34	4,109	-41.9	26.9	91	11,367	-15.0	34.7
11月	188	587	7,647	4.1	-8.5	9.9	38	2,956	4.5	-6.6	96	8,569	16.8	8.4
資料出所	東日本建設業保証(株)宮城支店 北海道、東日本、西日本の三保証株式会社						国土交通省							

注) ①公共工事請負金額の暦年・四半期の数値は当社集計。
 ②建築物着工床面積および建築物着工工事費予定額は民間非住宅の数値で、当社集計。

	消費活動指数	宮城県消費動向指数	百貨店・スーパー (販売額: 右同)		コンビニエンスストア		家電大型専門店		ドラッグストア		ホームセンター			
			宮城県 (億円)	全国 (億円)	前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)	
					宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国
2021年		106.0	3,980	199,071	-1.4	0.9	0.6	1.3	-0.3	-2.3	3.4	0.3	-0.4	-3.0
2022年		104.0	4,012	206,603	0.8	3.8	2.7	3.8	1.0	-0.01	7.9	5.5	-1.6	-1.4
2020年度		101.3	3,997	196,297	-2.6	-5.1	-4.4	-5.0	5.0	8.4	6.8	3.2	8.2	6.7
2021年度		106.0	3,973	199,978	-0.6	1.9	1.1	2.4	-1.2	-4.9	5.1	2.2	-2.9	-4.3
2022年度		104.1	4,039	208,918	1.6	4.5	3.6	4.6	0.4	-0.2	8.2	5.8	-1.1	-0.9
'22年7~9月	96.8	103.3	991	50,778	1.8	4.1	3.0	3.7	-3.0	-0.3	7.9	5.9	-1.4	-2.1
10~12月	96.7	103.0	1,087	57,182	1.7	4.0	4.4	6.0	6.7	1.1	10.9	8.4	1.2	1.2
'23年1~3月	97.5	105.7	989	51,170	2.8	4.7	4.0	5.4	-0.9	-1.5	8.0	6.1	-2.1	-0.3
4~6月	96.6	102.3	997	51,993	2.7	4.4	2.9	4.8	-6.7	-5.0	7.9	9.1	-4.8	-1.1
7~9月	97.5	102.2	1,023	53,683	3.2	5.7	3.9	5.2	8.9	2.9	8.9	9.3	-3.0	1.9
2022年11月	96.5	104.1	333	17,590	-0.1	3.0	5.2	7.9	19.8	0.3	10.0	7.9	-1.7	-1.3
12月	95.8	103.6	420	22,266	2.9	4.1	2.9	3.9	4.4	2.5	13.1	11.1	1.1	2.9
2023年1月	97.6	105.4	348	17,681	2.3	5.5	3.1	4.1	6.4	-0.3	9.9	5.0	-0.4	-1.4
2月	98.4	105.2	304	15,820	3.7	5.2	4.7	6.2	4.5	1.3	5.7	5.6	0.8	0.1
3月	96.5	106.6	338	17,669	2.5	3.6	4.2	6.0	-12.9	-4.6	8.4	7.8	-5.7	0.3
4月	96.3	101.8	333	17,095	4.6	5.2	3.6	5.3	-8.9	-3.9	6.9	9.0	-3.5	0.4
5月	96.8	104.5	330	17,437	1.4	3.7	3.1	5.5	-15.3	-4.7	7.8	9.0	-5.7	-2.0
6月	96.7	100.7	334	17,461	2.2	4.3	2.1	3.6	3.9	-6.3	9.1	9.4	-5.2	-1.8
7月	97.3	96.9	357	18,741	3.2	5.9	3.5	5.2	8.5	5.0	9.6	10.2	1.0	5.2
8月	97.7	108.6	345	17,858	4.2	6.5	5.7	6.3	14.0	3.9	7.4	7.6	-3.7	0.9
9月	97.3	100.9	321	17,084	2.2	4.8	2.3	4.0	4.3	-0.4	9.7	10.2	-6.7	-0.8
10月	96.8	100.5	345	18,018	3.4	4.0	1.9	2.2	2.7	-3.4	9.2	10.3	-4.8	-1.5
11月	96.8	100.8	346	18,396	3.9	4.6	0.1	0.1	-6.8	3.3	8.4	9.0	0.5	3.1
資料出所	日本銀行 当社		経済産業省											

注) ①消費活動指数、宮城県消費動向指数は2015年を100とした季節調整値。
 ②百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの前年比は全店ベース。

	乗用車新車販売台数						延べ宿泊者数 (千人泊)				外国人延べ宿泊者数 (千人泊)			
	宮城県 (台)	東北 (台)	全国 (千台)	前年比 (%)			宮城県	全国	前年比 (%)		宮城県	全国	前年比 (%)	
				宮城県	東北	全国			宮城県	全国			宮城県	全国
2021年	67,239	262,570	3,670	-7.7	-6.6	-3.5	6,435	317,774	-2.1	-4.2	49	4,317	-62.3	-78.8
2022年	65,013	249,896	3,443	-3.3	-4.8	-6.2	8,383	450,458	30.3	41.8	66	16,503	32.6	282.3
2020年度	72,701	282,620	3,852	-9.2	-8.5	-7.6	5,839	280,391	-44.8	-51.0	36	3,589	-93.5	-96.6
2021年度	63,364	246,892	3,462	-12.8	-12.6	-10.1	6,751	339,391	15.6	21.0	42	4,103	15.3	14.3
2022年度	67,620	262,607	3,609	6.7	6.4	4.2	8,871	497,787	31.4	46.7	130	35,314	209.8	760.7
'22年7~9月	16,159	62,150	846	8.8	6.1	2.1	2,317	126,060	37.5	49.6	13	2,253	-26.0	33.4
10~12月	16,015	62,566	887	8.6	10.0	10.8	2,399	136,959	8.9	26.6	37	11,765	269.0	1,105.7
'23年1~3月	21,367	83,753	1,152	13.9	17.9	16.7	2,091	131,313	30.4	56.4	68	19,535	1,616.5	2,596.4
4~6月	16,822	65,241	893	19.5	20.5	23.5	2,412	140,123	16.9	35.4	138	27,625	1,102.0	1,469.2
7~9月	17,827	69,048	964	10.3	11.1	13.9	2,820	163,885	21.7	30.0	131	30,729	925.1	1,263.7
2022年11月	5,555	22,169	308	5.7	5.1	5.7	798	45,811	5.9	24.0	12	3,793	270.6	1,035.5
12月	4,904	18,700	284	-2.7	-0.9	1.5	779	47,085	1.4	20.2	15	5,877	242.1	1,680.6
2023年1月	5,731	21,735	320	16.4	19.5	17.5	648	39,495	9.5	41.8	24	6,058	1,672.2	2,838.3
2月	6,173	23,947	356	14.0	19.5	23.0	622	41,140	36.0	79.3	23	5,930	1,920.9	2,965.3
3月	9,463	38,071	477	12.3	16.0	12.0	822	50,678	48.0	52.7	22	7,547	1,335.8	2,223.2
4月	5,103	20,617	289	7.2	11.4	18.6	769	45,540	17.5	39.0	54	9,520	1,468.0	1,790.1
5月	5,122	19,837	272	19.3	22.8	28.5	843	49,258	17.7	33.8	39	8,766	663.8	1,243.4
6月	6,597	24,787	332	31.3	27.3	24.0	801	45,325	15.5	33.7	44	9,340	1,427.5	1,445.5
7月	5,773	22,669	321	3.6	4.3	11.4	886	52,543	23.5	31.9	44	10,814	1,487.0	1,434.5
8月	5,302	20,164	280	20.6	20.2	19.9	1,051	61,024	23.7	30.2	48	10,095	712.6	1,296.5
9月	6,752	26,215	363	9.1	10.9	11.8	884	50,318	17.8	27.9	40	9,819	852.0	1,089.1
10月	6,240	24,383	334	12.3	12.4	13.1	927	53,778	12.9	22.0	72	12,259	637.2	485.4
11月	6,344	24,756	343	14.2	11.7	11.7								
資料出所	日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会						観光庁							

注) ①乗用車新車販売台数は普通乗用車、小型乗用車および軽乗用車の合計値。
 ②延べ宿泊者数は全宿泊施設の数値。

	完全失業者		新規求人倍率			有効求人倍率			企業物価指数		消費者物価指数 (2020年=100)			
	失業者数 (万人)	失業率 (%)	宮城県 (倍)	東北 (倍)	全国 (倍)	宮城県 (倍)	東北 (倍)	全国 (倍)	2020年 = 100	前年比 (%)	前年比 (%)			
											仙台市	全国	前年比 (%)	仙台市
2021年	195	2.8	2.11	1.99	2.03	1.30	1.26	1.13	104.6	4.6	100.0	99.8	0.0	-0.2
2022年	179	2.6	2.23	2.14	2.28	1.38	1.38	1.28	114.9	9.8	103.0	102.1	3.0	2.3
2020年度	200	2.9	1.93	1.78	1.90	1.20	1.13	1.10	99.9	-1.5	99.8	99.9	-0.3	-0.4
2021年度	191	2.8	2.17	2.05	2.09	1.33	1.31	1.16	107.0	7.1	100.4	99.9	0.5	0.1
2022年度	178	2.6	2.23	2.12	2.31	1.40	1.39	1.31	117.2	9.5	104.0	103.0	3.6	3.0
'22年7~9月	178	2.6	2.22	2.15	2.31	1.38	1.39	1.30	116.1	9.8	103.5	102.5	3.5	2.7
10~12月	174	2.5	2.27	2.19	2.37	1.41	1.42	1.35	119.1	10.1	104.9	103.8	4.3	3.8
'23年1~3月	181	2.6	2.23	2.03	2.33	1.43	1.38	1.34	119.7	8.3	105.3	104.0	4.0	3.5
4~6月	177	2.6	2.18	2.03	2.30	1.38	1.34	1.31	119.5	5.0	106.2	104.9	3.8	3.2
7~9月	182	2.7	2.11	1.98	2.27	1.35	1.30	1.29	119.6	3.0	107.5	105.6	3.8	3.0
2022年11月	173	2.5	2.30	2.20	2.38	1.41	1.42	1.35	119.2	10.0	104.8	103.8	4.1	3.7
12月	171	2.5	2.33	2.22	2.38	1.43	1.43	1.36	119.9	10.6	105.3	104.1	4.7	4.0
2023年1月	167	2.4	2.21	2.07	2.38	1.42	1.42	1.35	119.9	9.5	105.7	104.3	4.9	4.2
2月	180	2.6	2.33	2.00	2.32	1.45	1.38	1.34	119.6	8.3	104.7	103.6	3.5	3.1
3月	195	2.8	2.15	2.03	2.29	1.41	1.34	1.32	119.7	7.4	105.4	104.1	3.5	3.1
4月	180	2.6	2.06	1.97	2.23	1.41	1.35	1.32	120.1	5.8	105.8	104.8	3.7	3.4
5月	177	2.6	2.25	2.06	2.36	1.38	1.34	1.31	119.3	5.1	106.0	104.8	3.6	3.2
6月	173	2.5	2.22	2.05	2.32	1.36	1.32	1.30	119.2	4.1	106.8	105.0	4.0	3.3
7月	184	2.7	2.01	1.93	2.27	1.35	1.31	1.29	119.5	3.6	107.3	105.4	4.0	3.1
8月	185	2.7	2.24	2.02	2.33	1.33	1.30	1.29	119.8	3.4	107.5	105.7	4.0	3.1
9月	177	2.6	2.07	1.98	2.22	1.36	1.30	1.29	119.6	2.2	107.6	105.7	3.5	2.8
10月	175	2.5	2.02	2.00	2.24	1.34	1.32	1.30	119.3	0.9	108.6	106.4	3.8	2.9
11月	177	2.5	2.12	1.94	2.26	1.32	1.29	1.28	119.5	0.3	108.4	106.4	3.4	2.5
資料出所	総務省		厚生労働省						日本銀行		総務省・宮城県			

注) ①完全失業者、企業物価指数は全国の数値。 ②消費者物価指数は生鮮食品を除く総合指数。
 ③仙台市消費者物価指数の四半期の数値は当社集計。

主要経済指標

	宮城県主要4漁港水揚								宮城県貿易			
	水揚数量 (千トン)	数 量					金 額		輸 出		輸 入	
		前 年 比 (%)					水揚金額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)
		塩 釜	石 巻	気仙沼	女 川							
2021年	234	2.0	-4.5	-2.9	6.1	8.7	492	3.2	2,347	26.3	7,467	20.7
2022年	188	-19.4	-30.2	5.1	-38.9	-36.6	495	0.6	3,359	43.1	10,669	42.9
2020年度	231	1.8	-25.0	-1.3	4.6	17.3	474	0.1	1,770	-24.1	5,562	-29.9
2021年度	221	-4.1	-15.9	-6.5	10.1	-16.5	489	3.3	2,638	49.0	8,319	49.6
2022年度	194	-12.2	-21.5	11.3	-37.4	-18.2	525	7.3	3,525	33.6	11,552	38.9
'22年7~9月	36	-33.8	-20.4	-11.9	-55.9	60.0	144	-2.4	955	49.4	3,107	66.6
10~12月	41	-21.2	-24.4	-5.2	-27.1	-57.1	127	-5.1	881	31.2	3,311	22.3
'23年1~3月	45	14.4	-12.5	11.1	19.3	25.0	97	44.9	941	21.4	3,201	38.3
4~6月	84	16.7	93.5	4.8	69.1	-1.3	229	46.5	804	7.5	2,172	12.4
7~9月	41	14.9	-30.6	-10.6	68.6	-38.7	169	17.1	822	-13.9	2,364	-23.9
2022年11月	12	-36.1	-35.4	-37.9	-28.0	-51.9	40	-23.5	262	13.7	1,013	13.2
12月	17	-7.9	0.9	22.2	-14.9	-73.9	43	6.3	309	42.7	1,210	19.4
2023年1月	16	3.9	-69.1	10.3	30.7	-3.2	39	30.9	266	19.4	1,143	43.7
2月	15	6.8	207.7	-4.9	12.8	26.0	29	69.0	283	-4.8	1,045	21.1
3月	14	41.0	30.7	49.2	12.5	58.1	29	45.2	392	53.9	1,013	54.5
4月	16	-8.3	150.5	-15.9	-24.8	-4.0	37	32.8	278	27.5	923	17.4
5月	30	14.7	12.6	4.3	95.1	-16.2	79	70.7	257	3.4	835	44.9
6月	37	34.3	125.7	19.8	78.9	16.0	113	37.6	270	-4.3	413	-27.5
7月	21	-7.2	-64.6	-43.6	67.6	-49.3	79	0.8	297	-18.3	566	-46.5
8月	10	96.2	-19.0	151.0	103.5	13.5	41	40.7	237	-19.3	938	-9.7
9月	10	27.7	10.0	23.6	40.1	3.8	49	33.1	288	-3.4	861	-15.0
10月	16	25.3	106.5	-0.1	50.4	17.8	62	41.3	333	7.4	939	-13.7
11月	9	-23.2	-15.6	-29.1	-23.5	8.9	44	9.1	313	19.5	1,175	16.0
資料出所	宮 城 県								横 浜 税 関			

注) 宮城県主要4漁港水揚の年度・四半期の数値および宮城県貿易の年度・四半期・月次の数値は当社集計。

	企 業 倒 産 (負債総額1千万円以上)								宮城県内預金残高		宮城県内貸出金残高	
	件数(件)	前 年 比 (%)			負債額(億円)	前 年 比 (%)			金 額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)
		宮城県	東 北	全 国		宮城県	東 北	全 国				
2021年	72	-36.3	-32.4	-22.4	165	-29.6	3.4	-5.7	116,903	4.0	73,451	2.7
2022年	100	38.9	42.1	6.6	227	37.7	-9.1	102.6	120,926	3.4	78,276	6.6
2020年度	103	-25.9	-31.0	-17.0	90	-75.6	-58.6	-4.5	115,258	7.9	71,771	3.1
2021年度	86	-16.5	-3.7	-16.5	199	120.9	81.9	-3.3	118,383	2.7	74,245	3.4
2022年度	108	25.6	15.7	15.1	225	12.8	-4.6	99.0	121,092	2.3	78,618	5.9
'22年7~9月	24	0.0	9.5	9.5	47	-61.7	-49.5	34.6	117,752	3.0	74,823	3.5
10~12月	26	73.3	44.3	15.9	106	465.9	-17.5	-1.4	120,926	3.4	78,276	6.6
'23年1~3月	41	24.2	-8.7	30.1	45	-4.5	62.4	-2.3	121,092	2.3	78,618	5.9
4~6月	35	105.9	65.7	34.1	19	-26.8	125.7	-54.8	120,583	1.9	78,519	5.9
7~9月	34	41.7	63.8	41.2	78	65.6	70.9	182.4	121,856	3.5	79,291	6.0
2022年11月	3	-50.0	-11.5	13.9	78	1,642.5	90.6	22.8	117,460	2.7	75,158	3.8
12月	8	166.7	63.2	20.2	4	120.9	-76.5	-15.0	120,926	3.4	78,276	6.6
2023年1月	11	0.0	-26.7	26.1	12	-14.8	-46.3	-15.6	120,692	4.3	78,275	6.8
2月	16	45.5	16.1	25.7	7	-46.4	360.3	36.0	120,289	3.4	78,030	6.1
3月	14	27.3	-14.0	36.4	26	27.6	-11.1	-13.1	121,092	2.3	78,618	5.9
4月	7	40.0	13.6	25.5	2	19.3	-9.2	150.9	121,127	1.5	78,600	6.0
5月	10	66.7	45.5	34.7	5	-76.7	-22.8	219.0	119,918	2.3	78,361	5.8
6月	18	200.0	134.8	41.0	12	486.6	476.7	-87.8	120,583	1.9	78,519	5.9
7月	11	175.0	66.7	53.4	35	306.9	47.9	91.7	120,776	2.6	78,678	5.1
8月	10	25.0	75.0	54.5	12	-64.6	-23.7	-2.7	121,330	3.8	78,808	5.0
9月	13	8.3	52.0	20.2	31	452.4	385.3	377.6	121,856	3.5	79,291	6.0
10月	10	-33.3	-29.8	33.1	11	-54.3	0.6	254.1	120,362	2.2	79,169	5.6
11月	10	233.3	34.8	38.9	24	-69.0	-47.1	-17.9	119,999	2.2	79,504	5.8
資料出所	(株) 東 京 商 工 リ サ ー チ								日 本 銀 行			

注) ①企業倒産の四半期の数値は当社集計。

②預金残高、貸出金残高の歴年・年度の数値はそれぞれ12月末、3月末、四半期の数値は各期末。

経済日誌 (2023年12月分)

宮 城 県		東 北	
4日	第一生命保険は「仙台第一生命ビル」(愛称:黒ビル)の建て替えを発表した。鉄骨造で地上13階・地下1階、せんだい都心再構築プロジェクトの認定を受け2028年完成予定。	1日	「道の駅やまがた蔵王」(山形市)が開業した。市と国交省が整備し、鉄骨平屋で延べ床面積約2500㎡、駐車場は370台分。カフェやプリン専門店など4店が出店。
8日	東洋刃物(富谷市)は新工場「MS棟」の竣工式を行った。鉄骨一部2階建、延床面積4353㎡で総工費11億円。リチウムイオン電池製造用のマイクロスリッターナイフを増産。	13日	日銀仙台支店は12月の短観(東北地区)結果を公表した。業況判断DI(全産業)は前回調査比2ポイント上昇の3と2期連続の改善。製造業は上昇、非製造業は横ばい。
12日	東北農政局は2023年水稻の作柄概況(確定値)を公表した。県の作況指数は105(「やや良」と前年(100:平年並み)から改善し全国最高。東部が104で他地域は105。	18日	雨風太陽(花巻市)は東京証券取引所のグロース市場に上場した。農水産物の産地直送サイト「ポケットマルシェ」を運営、初値比15%安の1122円で初日取引終了。
22日	県、名取市と小糸製作所(東京)は新工場の立地協定を締結した。愛島西部工業団地内約7.8haの土地を取得。100億円超を投じ、2027年春稼働予定。地元雇用300人程度。	22日	東北農政局は2022年の農業産出額を公表した。東北6県で前年比7億円増の1兆3599億円。コロナ禍からの需要回復で肉用牛・豚の価格が上昇。米は同2億円減。
	社会保障・人口問題研究所は県の将来推計人口を公表した。2050年の推計人口は183万人に減少、高齢化率は39.4%に上昇。全市町村で2020年比減、仙台市は99.9万人。		社会保障・人口問題研究所は地域別の将来推計人口を公表した。2050年の東北の推計人口は588.6万人(2020年:861.1万人)、高齢化率は44.0%(同32.2%)に上昇。
国 内		海 外	
5日	JTBは年末年始の旅行動向見通しを発表した。総旅行人数は対2019年比95.0%で国内95.7%、海外70.1%。国内の1人当たり旅行費用(4.1万円)は過去最高。	5日	米格付け会社ムーディーズ・インベスターズ・サービスは中国の信用格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に変更した。2017年の格下げにより、現在は「A1」。
14日	自民・公明両党は2024年与党税制大綱をまとめた。1人当たり4万円の定額減税や企業の賃上げや国内投資を促す減税、子育て世帯等に対する住宅ローン減税継続など。	7日	中国税関総署は11月の貿易統計を発表した。1月からの累計で対ロシア貿易額が2181億ドルとなり、2019年に合意した「2024年までに2000億ドル」を達成。
22日	政府は2024年度予算案を閣議決定した。一般会計総額は112兆717億円で前年度比2兆3100億円減少、新規国債発行額は34兆9490億円。	12日	米労働省は11月の消費者物価指数を発表した。上昇率は前年同月比3.1%と前月(3.2%)から縮小。エネルギーと食品を除くコア指数の上昇率は10月と同じ4.0%。
29日	経団連は大手企業の冬季賞与の集計結果を公表した。回答企業の平均妥結額は前年比1.37%増の90万6413円と2年連続のプラス、90万円台は4年ぶり。		国際半導体製造装置材料協会(SEMI)は製造装置の世界売上高予測を発表した。2024年は1053億ドル(前年比4%増)、25年(1240億ドル)は過去最高となる見通し。

資料:日本経済新聞、河北新報ほか

2023年の主な出来事

月	宮城県内		国内		海外	
	日		日		日	
1	8	◆古川学園高等学校（大崎市）女子バレーボール部、全日本高校選手権で23大会ぶり4度目の優勝	3	◆第99回東京箱根間往復大学駅伝、駒澤大学が2年ぶり8度目の総合優勝	6	◆米食品医薬品局（FDA）、アルツハイマー病治療薬「レカネマブ」承認
	10	◆「2023年版『住みたい田舎』ベストランキング」（宝島社「田舎暮らしの本」）、気仙沼市が総合部門で東北2位獲得	5	◆政府、旧統一教会の問題を受け悪質な寄付勧誘行為を禁止する被害者救済法施行	6	◆国連食糧農業機関（FAO）、2022年世界食料価格指数（14～16年＝100）、前年比14.3%（18.0ポイント）上昇の143.7と過去最高
	12	◆仙台市、推計人口109万8,744人（2023年1月1日時点、前年比2,121人増）、2022年人口動態2年ぶり増加	5	◆2022年国内新車販売台数（軽自動車含む）、420万1,321台（前年比5.6%減）となり、45年ぶりの低水準	6	◆ギネスワールドレコーズ社、「史上最大の個人資産の損失」記録として米電気自動車大手テスラのイーロン・マスク最高経営責任者（CEO）を認定
	15	◆共同商業施設「気仙沼さかなの駅」営業終了、11年の歴史に幕	5	◆財務省、10年物国債の表面利率0.5%に引き上げ、8年ぶりの水準	8	◆中国、新型コロナウイルス対策緩和し、入国時の強制隔離撤廃
	18	◆仙台空港（名取市、岩沼市）、仙台－台北間の国際定期便、約3年ぶり運航再開	5	◆日銀、2022年末国債保有残高564兆1,557億円、年末として過去最高	8	◆ブラジル首都ブラジリア、ボルソナロ前大統領支持者ら約4千人暴徒化、連邦議会など襲撃
	19	◆第168回芥川賞、仙台市の佐藤厚志さん「荒地の家族」に決定、県出身受賞者は3人目	9	◆農林水産省、高病原性鳥インフルエンザによる鶏などの殺処分対象数、計約998万羽となり過去最多	8	◆中国政府、日本と韓国で中国に渡航するビザ（査証）発給手続き停止
	19	◆加美町、2022年度「ふるさとづくり大賞」（総務省）、地方自治体表彰（総務大臣表彰）	10	◆政府、年末年始に中断していた全国旅行支援再開	10	◆トヨタ自動車、中国での2022年新車販売台数194万600台（前年比0.2%減）、10年ぶりの減少と発表
	24	◆松島町、2022年観光客入り込み数212万3,521人、新型コロナウイルス下の過去3年間で最多	10	◆東北農政局、2021年東北6県農業産出額、1兆3,592億円（前年比5.8%減）と発表	10	◆英国・ヘンリー王子、自伝「スベア」発売
	28	◆県、角田市の農場で高病原性鳥インフルエンザ陽性確定、約1万2,000羽殺処分	10	◆全国さんま棒受網漁業協同組合（東京都）、2022年全国サンマ水揚げ量1万7,910トン（前年比2.1%減）で4年連続過去最低更新と発表	10	◆英国ギタリスト・ジェフ・ベックさん（78歳）死去
	31	◆登米市東和町に建設予定のバイオガス発電所計画、経済産業省が事業廃止を受理	11	◆2022年車名別国内新車販売台数、ホンダの軽自動車「N-BOX（エヌボックス）」20万2,197台（前年比7.0%増）となり2年ぶりの首位	11	◆中国政府、日本と韓国に対し、乗り継ぎ時の優遇政策や臨時ビザ（査証）発給手続き停止を発表
			11	◆東京商工リサーチ東北支社、2022年東北企業倒産状況（負債額1,000万以上）、件数341件（前年比42.0%増）で3年ぶり増加	11	◆米ワシントン、日米安全保障協議委員会（2プラス2）開催
			11	◆ミュージシャン・高橋幸宏さん（70歳）死去	15	◆ネパール・イエティ航空旅客機墜落事故発生、68人死亡
			13	◆野球殿堂博物館、特別表彰に作曲家・故古関裕而さん選出	17	◆中国国家統計局、2022年末中国総人口（台湾や香港、マカオを除く）14億1,175万人（前年末比85万人減）と発表、減少は61年ぶり
			19	◆財務省、2022年貿易統計（速報、通関ベース）、貿易収支19兆9,713億円の赤字、赤字額は1979年以降で過去最大	17	◆中国国家統計局、2022年国内総生産（GDP、速報値）物価変動の影響を除く実質前年比3.0%増、政府目標届かず

月	宮城県内		国内		海外	
	日		日		日	
1			20	◆自殺統計（速報値、警察庁）、2022年自殺者数2万1,584人（前年比577人増）、2年ぶりの増加	23	◆米プロバスケットボールNBA、ウィザーズの八村塁選手、トレードでレオカードに移籍と発表
			22	◆車いすテニス男子・国枝慎吾選手、現役引退表明	24	◆米司法省、グーグルに独占禁止法（反トラスト法）違反で提訴
			24	◆元プロ野球選手・門田博光さん（74歳）死去	25	◆ニュージーランド、与党労働党のクリス・ヒプキンス党首、新首相就任
			26	◆不動産経済研究所、2022年首都圏（1都3県）新築マンション1戸当たりの平均価格6,288万円（前年比0.4%増）、2年連続過去最高更新	25	◆国連教育科学文化機関（ユネスコ）世界遺産委員会、ウクライナ南部オデッサの歴史地区を世界遺産登録決定、「危機遺産」に指定
					27	◆米調査会社IDC、2022年世界スマートフォン出荷台数（速報値）12億1千万台（前年比11.3%減）、2013年以来9年ぶり低水準
				29	◆在中国大使館、日本人に対する渡航ビザ（査証）発給再開	
2	3	◆県、2023年度当初予算案、一般会計総額2022年度当初比354億円（3.2%）減の1兆792億円、東日本大震災関連は同54億円（19.4%）減の約224億円で過去最低	2	◆警察庁、2022年刑法犯認知件数60万1,389件（前年比5.9%増）、20年ぶりに増加に転じる	4	◆米、中国の偵察気球を撃墜と発表
			3	◆コンコルディア・フィナンシャルグループ（FG）傘下の横浜銀行（神奈川県）、神奈川銀行（同県）と経営統合と発表	6	◆トルコ、マグニチュード（M）7.8地震発生、建物倒壊被害等で1,900人超死亡
	5	◆「第45回松島かき祭り」（松島町）3年ぶり開催			6	◆中国、約3年ぶり海外団体旅行解禁、対象には日本は含まれずタイやロシアなど20カ国
	15	◆アセットブレインズ仙台ネットワーク（仙台市）、2022年仙台圏事業用不動産取引、取引件数105件、取引額（推計値）総計1,311億7,700万円、件数、取引額とも2012年以来最多	3	◆日本将棋連盟、2022年獲得賞金・対局料ランキング、藤井聡太五冠が1億2,205万円で1位と発表、1億超えとランキングトップは共に初	18	◆北朝鮮、大陸間弾道ミサイル（ICBM）級ミサイル発射、排他的経済水域（EEZ）内落下と推定
			4	◆北海道「さっぽろ雪まつり」3年ぶり開幕	18	◆ドイツ・ミュンヘン、先進7カ国（G7）外相会合開催
			7	◆三菱重工業、国産初のジェット旅客機スペースジェット（旧MRJ）事業撤退	20	◆バイデン米大統領、ウクライナ首都キーウ（キエフ）電撃訪問し、ゼレンスキー大統領と会談
			13	◆漫画家・松本零士さん（85歳）死去	23	◆米ニューヨーク、国連総会（193カ国）、ウクライナからのロシア軍即時撤退を要求する決議案、141カ国の賛成で採択
			14	◆トヨタ自動車名誉会長・豊田章一郎さん（97歳）死去		
			18	◆財務省、電気機器の輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支、2022年下半年（7～12月）812億円、初の赤字転落		
			19	◆横浜税関、2022年日本酒輸出量3万5,895kl、過去最高更新		

月	宮城県内		国内		海外	
	日		日		日	
2			21	◆上野動物園（東京都）、ジャイアントパンダのシヤンシヤン中国に返還		
			22	◆ボクシング・村田諒太選手、引退表明		
			22	◆タレント・笑福亭笑瓶さん（66歳）死去		
			28	◆厚生労働省・人口動態統計（速報値）、2022年に生まれた赤ちゃんの数（出生数）79万9,728人（前年比5.1%減）、統計開始以来初の80万人割れ		
3	10	◆仙台国際センター（仙台市青葉区）、国際会議「第3回世界防災フォーラム（WBF）」開幕	1	◆静岡県清水港、ドイツ船会社「フェニックス・ライゼン」のクルーズ船アマデア入港、訪日クルーズ再開は約3年ぶり	3	◆インド・ニューデリー、4カ国（日本、米、オーストラリア、インド）の協力枠組み「クアッド」外相会合開催
	15	◆仙台圏2022年新築マンション供給数（広告代理店DGコミュニケーションズ仙台オフィス調べ）1,410戸（前年比499戸増）、2009年以降で最多	3	◆ノーベル文学賞作家・大江健三郎さん（88歳）死去	5	◆中国、第14期全国人民代表大会（全人代＝国会）開幕
	22	◆国土交通省、県公示地価（1月1日時点）全用途の平均変動率11年連続上昇	3	◆政府、車いすテニス男子・国枝慎吾さんに国民栄誉賞授与決定、パラスポーツ界で初	6	◆韓国政府、元徴用工訴訟問題で日本企業の賠償支払いを韓国の財団が肩代わりする解決策正式発表
	23	◆仙台市都市計画道路「宮沢根白石線」、若林区昭和市電通りと連坊小路交差点間の（約1,040キロ）区間開通	7	◆種子島宇宙センター（鹿児島県）、地球観測衛星だいち3号搭載のH3ロケット1号機発射失敗	10	◆中国、全国人民代表大会（全人代）で習近平国家主席3選決定
	23	◆英国教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション（THE）、2023年「THE日本大学ランキング」、東北大学が4年連続トップ	9	◆元衆院議長・扇千景さん（89歳）死去	10	◆断交中のイランとサウジアラビア、中国仲介により外交関係正常化に合意、3カ国の共同声明発表
	25	◆東北自動車道、菅生スマートインターチェンジ（IC）開通	13	◆政府、新型コロナウイルス対策のマスク着用ルール、個人の判断と緩和、約3年ぶり転換	10	◆米連邦預金保険公社（FDIC）、シリコンバレー銀行経営破綻と発表、米銀の破綻規模では史上2番目
	26	◆仙台管区気象台、仙台で桜の開花を観測、1953年の観測開始以来最速	16	◆約5年ぶりとなる日本での日韓首脳会談開催、関係正常化で合意、「シャトル外交」再開で一致	12	◆第95回アカデミー賞、SFアクション「エブリシング・エブリウェア・オール・アット・ワンス」が作品賞含む最多7部門受賞
	31	◆仙台城跡（仙台市青葉区）、2022年3月の地震で破損していた伊達政宗騎馬像が修復を終え帰還	19	◆将棋・藤井聡太五冠、棋王初獲得、最年少六冠達成	19	◆スイス金融最大手UBS、クレディ・スイス買収と発表
	31	◆都市計画道路「釜大街道線」「石巻工業港運河線」（ともに石巻市）全線開通	23	◆トヨタ自動車、代表的セダン「カムリ」国内販売終了、40年超の歴史に幕	21	◆ウクライナ首都キーウ（キエフ）、岸田文雄首相電撃訪問、ゼレンスキー大統領と会談
			27	◆国産初の次世代超高速計算機「量子コンピューター」（理化学研究所など開発）稼働開始	21	◆第5回ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）、日本代表「侍ジャパン」14年ぶり3度目の優勝
			27	◆文化庁、京都での業務開始、中央省庁初		
			28	◆音楽家・坂本龍一さん（71歳）死去		
			30	◆トヨタ自動車、高級車ブランド「レクサス」初の電気自動車（EV）専用モデル「RZ（アールズイー）」発売		

月	宮城県内		国内		海外	
	日		日		日	
3			31	◆東京電力福島第1原発事故で被災した福島県浪江町の帰還困難区域内に設けられた特定復興再生拠点区域（復興拠点）の避難指示解除	30	◆米東部ニューヨーク州大陪審、ドナルド・トランプ前大統領起訴、米大統領経験者が起訴されるのは初
					30	◆トルコ議会、フィンランドの北大西洋条約機構（NATO）加盟議定書承認する法案可決
4	1	◆スターラックス航空（台湾）、仙台空港（名取市、岩沼市）-台北の国際定期便運行開始	1	◆東京電力福島第1原発事故に伴う帰還困難区域のうち福島県富岡町の特定復興再生拠点区域（復興拠点）の避難指示解除	2	◆英国・ロンドン、演劇界の権威「オリビエ賞」、宮崎駿監督のアニメ映画の舞台版「となりのトトロ」が9部門にノミネートされ6賞獲得
	1	◆東北学院大学、五橋キャンパス（仙台市若林区）開学	1	◆政府、福島国際研究教育機構（F-REI=エフレイ）を福島県浪江町に設立	4	◆フィンランド、北大西洋条約機構（NATO）正式加盟
	1	◆松島町内初の認定こども園「松島めぶきの森」開所	1	◆「こども家庭庁」発足	5	◆米ロサンゼルス、台湾・蔡英文総統と米マッカーシー下院議長会談
	3	◆一番町三丁目七番地区市街地再開発準備組合、複合ビル「電力ビル」（仙台市青葉区）解体し、高層ビル2棟建設と発表、全体の完成は2035年度ごろ	5	◆愛称「ムツゴロウ」作家・畑正憲さん（87歳）死去	10	◆ロシア・カムチャッカ半島、シベルチ火山で大規模噴火発生
	5	◆仙台国際空港（名取市）、2022年度仙台空港利用客数（速報値）279万3,912人（前年度比69.1%増）と発表	6	◆沖縄県宮古島、陸上自衛隊のヘリコプター事故発生	11	◆ミャンマー、国軍空爆実施し50人死亡
	8	◆不登校特例校「ろりぼっぶ小学校」（仙台市太白区）開校、私学不登校特例校として東北で初	10	◆東京商工リサーチ、2022年度全国企業倒産（負債額1千万円以上）6,880件（前年度比15.0%増）、増加は3年ぶり	15	◆ドイツ、脱原発完了、東京電力福島第1原発事故後に脱原発が実現するのは先進7カ国（G7）で初
	11	◆東北初の公立夜間中学「仙台市立南小泉中学校夜間学級」（仙台市若林区）開設	12	◆総務省、人口推計（2022年10月1日時点）総人口（外国人含む）1億2,494万7千人（前年比55万6千人減）、マイナスは12年連続	16	◆アフリカ北東部スーダン首都ハルツーム、軍と民兵組織が戦闘、民間人97人死亡
	24	◆仙台藩祖伊達政宗の霊廟「瑞鳳殿」（仙台市青葉区）、2001年4月以来22年ぶり修復された本殿開帳	14	◆国土交通省、大阪府・市が提出したカジノを中心とする統合型リゾート施設（IR）整備計画認定、IR計画認定は初	16	◆米ニューヨーク、ミュージカル「オペラ座の怪人」最終公演迎え、劇場街ブロードウェイ史上最长約35年の歴史に幕
	26	◆国内最大級の花と緑の祭典「第40回全国都市緑化仙台フェア『未来の杜せんたい2023』」（仙台市青葉区）開幕	14	◆超高層ビル「東急歌舞伎町タワー」（東京都新宿区）開業	17	◆中国、新海誠監督のアニメ映画「すずめの戸締り」興行収入7億5,200万円（約146億6,700万円）となり日本での興行収入超える
	28	◆仙台空港（名取市、岩沼市）、アジアナ航空の国際定期便（仙台空港-韓国・ソウル線）3年2カ月ぶり運航再開	15	◆和歌山県和歌山市、岸田文雄首相演説会場で爆発事件発生	18	◆ポーランド、ハンガリー、スロバキア、自国農業保護のためウクライナ産穀物など農産品輸入禁止と発表
			15	◆北海道札幌市、先進7カ国（G7）気候・エネルギー・環境相会合開幕	19	◆国連人口基金、2023年半ばのインドの人口、世界最多14億2,860万と推計、インドの人口が中国を超えたのは初
			18	◆不動産経済研究所、2022年度首都圏（1都3県）新築マンション1戸当たり平均価格6,907万円（前年度比8.6%増）、2年連続過去最高額更新		

月	宮 城 県 内		国 内		海 外	
	日		日		日	
4			19	◆道の駅「いわて北三陸」(岩手県久慈市) オープン	25	◆アフリカ北東部スーダン首都ハルツーム、戦闘による危険回避のため日本政府が在留邦人国外退避完了
			20	◆財務省、2022 年度貿易統計速報(通関ベース) 貿易収支 21 兆 7,285 億円の赤字、1979 年度以降		
5	7	◆仙台港(仙台市宮城野区)、大型豪華客船「セブンシーズ・エクスプローラー」(5万 5,254 トン、マーシャル諸島船籍) 初寄港	1	◆東京電力福島第 1 原発事故で福島県飯舘村に設定された帰還困難区域のうち、特定復興再生拠点区域(復興拠点)内にある長泥地区の避難指示解除	1	◆米連邦預金保険公社(FDIC)、米中堅銀行ファースト・リパブリック銀行経営破綻と発表
	8	◆大崎市役所新庁舎、業務開始	5	◆石川県珠洲市、震度 6 強の地震発生	3	◆国連食糧農業機関(FAO)と世界食糧計画(WFP)、2022 年急性飢餓人口(調査対象 58 カ国・地域)、2 億 5,800 万人で過去最多と発表
	8	◆みやぎ大崎観光公社(大崎市)主催「大崎耕土フィールドミュージアムトレイン」、2022 年度「鉄旅オブザイヤー」でパーソナル部門賞(個人旅行)受賞	5	◆財務省貿易統計、2022 年ロシアからの水産物輸入額、1,552 億円で 1992 年以降過去最高額	5	◆世界保健機関(WHO)、新型コロナウイルス感染症を巡る緊急事態宣言終了と発表
	9	◆仙台市、保育施設の待機児童(4月1日時点) 2 年連続ゼロと発表	8	◆政府、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付け、季節性インフルエンザと同じ「5 類」に移行	6	◆英国、チャールズ国王の戴冠式開催、70 年ぶりの式典となる
	10	◆県など、ものづくり系スタートアップ(新興企業)の支援組織「テクス夕宮城」設立	9	◆英国シンクタンク・エンバー、電力量 1 キロワット時当たりの CO2 排出量(2022 年)、日本(484 グラム)は世界平均より多く、先進 7 カ国(G7)で最多と分析発表	7	◆韓国・ソウル、日韓首脳会談開催、日本の首相が 2 国間会談のための訪韓するのは 2011 年以來
	10	◆「ジャパン・リニューアブル・エナジー」(JRE、東京都)、丸森町大内と筆甫両地区に計画の風力発電事業、計画中止と発表	9	◆英国シンクタンク・エンバー、電力量 1 キロワット時当たりの CO2 排出量(2022 年)、日本(484 グラム)は世界平均より多く、先進 7 カ国(G7)で最多と分析発表	11	◆世界保健機関(WHO)、サル痘(エムポックス)に対する緊急事態宣言終了と発表
	12	◆ホテル佐勘(仙台市太白区)、先進 7 カ国(G7) 科学技術相会合開幕	11	◆財務省、2022 年度国際収支速報、経常収支の黒字額 9 兆 2,256 億円(前年度比 54.2%減)、14 年度以來 8 年ぶりの低水準	27	◆フランス、第 76 回カンヌ国際映画祭、コンペティション部門男優賞に役所広司さん、脚本賞に坂元裕二さん各受賞
	17	◆仙台市、源泉所得税の徴収ミス、2018 年からの 5 年間で 264 件、計 1,883 万円と発表	11	◆千葉県木更津市、震度 5 強の地震発生	27	◆米デトロイト、新経済圏構想「インド太平洋経済枠組み(IPEF)」開幕、多国間の供給網協定は初の試み
	17	◆仙台市、2022 年仙台市宿泊者数 476 万 6,862 人と公表、2019 年の 76.4%と回復傾向	12	◆政府、健康保険法などの改正法成立	28	◆トルコ大統領選、現職エルドアン大統領当選
	19	◆日帰り温泉「天然温泉もみの木」(角田市)完成、市内唯一の温泉施設	17	◆内閣府、2023 年 1~3 月期国内総生産(GDP、季節調整済み)速報値、物価変動を除く実質で前期比 0.4%増、年率換算 1.6%増、3 四半期ぶりプラス成長		
	24	◆県の酒造好適米「吟のいろは」から造った清酒「鳳陽」(内ヶ崎酒造店)、全国新酒鑑評会で初の金賞受賞	19	◆元タレント・上岡龍太郎さん(81 歳)死去		
	29	◆県、女性の再就職相談窓口「女性のキャリア・リスタート支援センター」(仙台市青葉区)開所	19	◆広島県広島市、先進 7 カ国首脳会議(G7 広島サミット)開幕		
			21	◆福井県永平寺町、全国初となる「レベル 4」の高度な自動運転車両の移動サービス開始		

月	宮城県内		国内		海外	
	日		日		日	
5			24	◆国連教育科学文化機関（ユネスコ）、自然公園「白山手取川」（石川県白山市）世界ジオパーク認定、ジオパーク認定は国内10例目		
			25	◆米・オープンAI、「チャットGPT」のiPhone（アイフォン）向けアプリ、日本で提供開始		
			28	◆トヨタ自動車の水素エンジン車、24時間耐久レース完走、液体水素搭載車では世界初		
			31	◆政府、「GX（グリーン）トランスフォーメーション）脱炭素電源法」成立		
6	2	◆複合商業ビル「ヨドバシ仙台第1ビル」（仙台市宮城野区）開業	1	◆将棋・藤井聡太六冠、名人初獲得し最年少七冠達成	2	◆インド東部オディシヤ州、列車事故発生、288人死亡約800人負傷
	5	◆日本刀の展示会「目で観る刀の教科書展」（大崎市役所開催）、1フロアに560振りの刀を展示しギネス世界記録認定	2	◆厚生労働省、2022年人口動態統計（概数）、合計特殊出生率は過去最低の1.26、出生数は77万747人（前年比4万875人減）で初の80万人割れ	4	◆シンガポール、日韓防衛相会談開催、約3年半ぶり
	12	◆老舗旅館「岩沼屋」（仙台市太白区）、温泉リゾートホテル「TAOYA（たおや）秋保」として新装オープン	2	◆政府、改正福島復興再生特別措置法成立	5	◆米アップル、初の拡張現実（AR）対応のGoogle型端末「Vision Pro（ビジョンプロ）」発表
	14	◆日本酒品評会「サケコンベンション」、純米酒の部で大和蔵酒造（大和町）「雪の松島海-KAI-ひとめぼれ純米原酒」1位獲得	5	◆トヨタ自動車、新型レクサス「L B X」全車両をトヨタ自動車東日本の岩手工場（岩手県金ケ崎町）で生産と発表、トヨタ自動車東日本によるレクサス生産は初	6	◆ウクライナ南部ヘルソン州、巨大ダム決壊、洪水発生
	18	◆「利府スポーツ流鏑馬（やぶさめ）大会」（利府町）開催、競技としては県内初	9	◆作家・平岩弓枝さん（91歳）死去	12	◆スイス金融最大手UBS、クレディ・スイスの買収手続き完了
	19	◆県美術館（仙台市青葉区）、1981年の開館後初となる本格的改修のため長期休館	11	◆JR釜石線（岩手県）、観光列車「SL銀河」運行終了	12	◆イタリア、元首相・シルビオ・ベルルスコーニさん（86歳）死去
	29	◆小田の浜海水浴場（気仙沼市）、サンオーレそではま（南三陸町）、菖蒲田海水浴場（七ヶ浜町）、東北初となる国際環境認証「ブルーフラッグ」取得	12	◆プロ野球投手・杉下茂さん（97歳）死去	16	◆米財務省、外国為替報告書で通貨政策の「監視対象」から日本が除外
	30	◆ジーデップ・アドバンス（仙台市）、東京証券取引所スタンダード市場上場、東北から約9年ぶりの新規上場	13	◆政府、初の「宇宙安全保障構想」決定	17	◆アフガニスタン中部、世界遺産パルミヤン遺跡にある壁画破壊
			16	◆遊園地「としまえん」跡地に「ワーナーブラザーズスタジオツアー東京ーメイキング・オブ・ハリー・ポッター」（東京都練馬区）オープン	17	◆米大リーグ・大谷翔平選手、メジャー通算150号本塁打記録達成
			16	◆政府、防衛財源確保の特別措置法成立	21	◆スイス・世界経済フォーラム（WEF）、「男女格差（ジェンダー・ギャップ）報告」発表、1位はアイスランド、日本は146カ国中125位
			16	◆政府、LGBTなど性的少数者への理解増進法成立	22	◆米大リーグ・大谷翔平選手、オールスター戦ファン投票で初のア・リーグ最多票獲得し3年連続3度目の先発出場決定
			16	◆プロ野球投手・北別府学さん（65歳）死去	23	◆米大リーグ・大谷翔平選手、日米通算200本塁打記録達成

月	宮城県内		国内		海外	
	日		日		日	
6			19	◆日本郵政とヤマトホールディングス（HD）、メール便と小型荷物事業で協業と発表	24	◆ロシア、民間軍事会社ワグネル創設者プリゴジン氏、首都モスクワへの進軍停止表明
			28	◆政府、2022年度一般会計税収、初の71兆円台、3年連続過去最高更新	30	◆米アップル、時価総額終値で3兆ドル（約430兆円）の大台突破、世界的上場企業で初
7	2	◆鳥の海公園スケートボードパーク（巨理町）開業	1	◆改正道路交通法施工、電動キックボードの新制度始まる	1	◆中国、「反スパイ法」施工
	3	◆仙台国税局、路線価（1月1日時点）発表、宮城県の上昇率4.4%、11年連続プラス	3	◆国税庁、路線価（1月1日時点）発表、平均変動率前年比1.5%プラス、2年連続の上昇	5	◆米IT大手メタ（旧フェイスブック）、短文投稿型交流サイト（SNS）「スレズ」開始
	3	◆仙台市、旧貝森小学校校舎（青葉区）に市公文書館開設	3	◆九州地方、記録的な大雨により河川氾濫等発生	6	◆米食品医薬品局（FDA）、アルツハイマー病治療薬「レカナマブ」本承認
	8	◆仙台市、若手起業家育成プログラム「仙台グローバルスタートアップ・キャンパス」始動	10	◆九州北部、線状降水帯が発生し河川氾濫等発生	12	◆リトアニア、北大西洋条約機構（NATO）首脳会議開催、岸田文雄首相2年連続出席
	12	◆富谷市、「いい部屋ネット街の住みここちランキング2023」（大東建託）東北6県中で4年連続トップ	10	◆イオン、物流施設から宅配する新ネットスーパーサービス「グリーンビーンズ」開始	13	◆欧州連合（EU）、日本産食品に課してきた輸入規制撤廃と発表
	13	◆仙台市、全国136都市（東京23区除く）都市評価ランキング（森記念財団）で7位	12	◆タレント・ryuchell（りゅうちえる）さん（27歳）死去	14	◆全米映画俳優組合、待遇改善要求を巡る制作会社側との交渉決裂受けストライキ突入
	14	◆宮城交通（仙台市）など、仙台・松島-東京・成田空港を結ぶ高速バス「ザ・サンライナー」運行開始	14	◆宇宙航空研究開発機構（JAXA）、能代ロケット実験場（秋田県能代市）で爆発事故発生	14	◆インドネシア首都ジャカルタ、ASEAN地域フォーラム（ARF）閣僚会議開催
	17	◆仙台市、沿岸部を巡る「せんだい海手線ループバス」運行開始、8月20日まで	15	◆秋田県、記録的な大雨により河川氾濫等発生	16	◆英国、環太平洋連携協定（TPP）新規加盟決定
	18	◆国土交通省、県北を流れる吉田川と、吉田川に合流する25河川の計26河川を「特定都市河川」に指定、東北での指定は初	15	◆第三セクター「南阿蘇鉄道」（熊本県）、7年3カ月ぶり全線運転再開	16	◆フランス、歌手・ジェーン・バーキンさん（76歳）死去
	25	◆2022年水産物流通調査（水産庁、速報）、塩釜港の生鮮クロマグロ水揚げ量1,491トン（前年比104トン増）、6年連続日本一達成	19	◆デジタル庁、マイナンバー誤入金、初確認	18	◆米ニューヨーク、国連安全保障理事会、人工知能（AI）を協議する初の公開会合開催
	25	◆仙台空港、仙台-中国・北京線（大連経由）国際定期便、約3年半ぶり運航再開	19	◆羽田空港（東京都）第2ターミナル国際線施設、約3年ぶり再開	23	◆米ツイッター、青い鳥のロゴとサイトのブランド名「X（エックス）」変更と発表
	29	◆日本通運、仙台空港-台湾・台北線の国際定期便を利用した貨物の輸出、約3年4カ月ぶりに再開	23	◆経済産業省、先端半導体分野23品目を輸出規制の対象に加えた外国為替法改正省令施工		
			24	◆作家・森村誠一さん（90歳）死去		
			26	◆総務省、住民基本台帳に基づく人口動態調査、総人口（1月1日時点、外国人含む）1億2,541万6,877人（前年比51万1,025人減）、減少幅は1968年以降最大更新、初の全都道府県でマイナスとなる		
			28	◆日銀、長期金利の上限0.5%超容認、大規模金融緩和策修正		

月	宮城県内		国内		海外	
	日		日		日	
7			28	◆厚生労働省、2023年度最低賃金、全国平均時給1,002円に引き上げ、過去最大増加幅(41円)		
			28	◆関西電力、高浜原発1号機(福井県高浜町)再稼働、国内最古の原発運転となる		
8	3	◆石巻港、最大級クルーズ船「MSCベリッシマ」(パナマ船籍、17万1,598トン)寄港、県内寄港は初	1	◆総務省、2022年度ふるさと納税の寄付額9,654億円(前年度比1,352億円増)、3年連続過去最高更新	1	◆中国、半導体材料に使用される希少金属の輸出規制発効
	4	◆ダイシン(仙台市)、初の都市型店舗「ダイシンネクスト名掛丁店」(仙台市青葉区)オープン	4	◆フィギュアスケート男子・羽生結弦さん結婚	1	◆格付け会社・フィッチ・レーティングス、米長期国債の格付け「ダブルAプラス」に1段階引き下げと発表、12年ぶり
	10	◆気仙沼市、2022年度ふるさと納税寄付額、過去最高49億3,900万円、東北の自治体で1位	23	◆第105回全国高校野球選手権大会決勝、仙台育英(宮城県代表)が慶応(神奈川県代表)に敗れ大会連覇ならず、慶応は107年ぶり2度目の優勝	2	◆中国・北京、豪雨による洪水等発生、140年間で最多降水量
	22	◆OICグループ(神奈川県川崎市)、ヨドバシ仙台第2ビル(仙台市宮城野区)に東北1号店となる食品スーパー「ロピア仙台ヨドバシ店」オープン	24	◆東京電力、福島第1原発で発生した処理水の海洋放出開始	3	◆欧州連合(EU)、ノルウェー、アイスランド、日本産食品に課してきた輸入規制撤廃
	24	◆村井嘉浩県知事、全国知事会長就任正式決定	26	◆JR宇都宮駅(栃木県)と芳賀町(同県)を結ぶ次世代型路面電車(LRT)「宇都宮芳賀ライトレール線」開業、路面電車の開業は75年ぶり、全線新設のLRTは全国初	6	◆パキスタン南部、列車脱線事故発生、30人死亡
	29	◆仙台市、全国初となる「水平リサイクル」による地域清掃用ゴミ袋作成	29	◆トヨタ自動車、全国14の工場がシステム障害につき稼働停止	9	◆米大リーグ・大谷翔平選手、史上初となる2度目の「2桁勝利、2桁本塁打」2年連続達成
					9	◆米ハワイ・マウイ島、大規模な山火事発生
					10	◆中国、日本への団体旅行を約3年半ぶりに解禁と発表
					17	◆中国不動産大手・中国恒大集団、米ニューヨークの裁判所に破産法申請
					18	◆米ワシントン、日米韓首脳会談開催
				23	◆インド宇宙研究機構(ISRO)、無人月探査機が月の南極付近に初着陸と発表	
				24	◆中国税関総署、日本の水産物、輸入全面停止と発表	
				27	◆ロシア、小型機墜落事故により民間軍事会社ワグネルの創設者エブゲニー・プリゴジン氏死亡と発表	
				28	◆米新興企業オープンAI、対話型人工知能(AI)「チャットGPT」の企業向けサービス提供開始	
9	4	◆県、東北の自治体で初となる県債「サステナビリティボンド」発効と発表、法人対象の5年債	1	◆関東大震災の発生から100年となる	5	◆インドネシア首都ジャカルタ、東南アジア諸国連合(ASEAN)首脳会議開幕
			2	◆バスケットボール男子日本代表、パリ五輪出場権獲得		

月	宮城県内		国内		海外	
	日		日		日	
9	7	◆JA全農みやぎ、2023年産米概算金、主要銘柄全4種1,200円増加、2年連続引き上げ	7	◆ジャニーズ事務所、性加害問題事実と認め謝罪	8	◆モロッコ中部、マグニチュード(M)6.8の地震発生、1000人超死亡
	14	◆県、県内全域にインフルエンザ注意報発表、1999年以降で最も早い時期の発令	17	◆総務省、人口推計、65歳以上の高齢者3,623万人、総人口に占める割合29.1%(前年比0.1ポイント増)で過去最高更新し世界トップ	9	◆インド首都ニューデリー、20カ国・地域首脳会議(G20サミット)開幕
	14	◆「富谷茶」(富谷市)、国際組織スローフード協会(本部イタリア)の「味の箱舟」登録認定	19	◆国土交通省、基準地価(7月1日時点)、地方圏住宅地31年ぶり上昇(前年比0.1%)、地方圏商業地4年ぶり上昇(同0.5%)	11	◆北アフリカ・リビア、暴風雨によりダム決壊し洪水発生
	19	◆住宅ローン仲介大手アルヒ(東京都)、「本当に住みやすい街大賞2023in宮城」(鉄道駅周辺地域対象)1位富沢駅(仙台市太白区)と発表	21	◆国債市場、新発10年債終値利回り0.745%上昇、約10年ぶり水準	12	◆米アップル、iPhone(아이폰)新型機「15」シリーズ発表、「USBタイプC」に変更
	19	◆県、基準地価(7月1日時点)公表、全用途平均2.3%上昇し11年連続プラス、都道府県別上昇率順位は住宅地8位、商業地6位	25	◆厚生労働省、アルツハイマー病新薬「レカネマブ(商品名レケンビ)」製造販売承認	14	◆英国半導体設計大手アーム、米ナスダック市場に上場、時価総額540億ドル(約8兆円)規模
	30	◆富谷宿観光交流ステーション(とみやど・富谷市)、スローフードの全国規模イベント「TERRAMADRE(テッラ・マードレ)JAPAN2023」日本版初開催	30	◆日本製鉄、瀬戸内製鉄所呉地区(広島県呉市)全設備休止、72年の歴史に幕	15	◆全米自動車労働組合(UAW)、ゼネラル・モーターズ(GM)など自動車大手3社一部工場で一斉ストライキ実施
10	1	◆角田ずんだまつり(角田市)、特産枝豆「秘伝豆」猛暑と雨不足により生育不良となり初の中止	1	◆財務省、消費税のインボイス(適格請求書)制度開始	1	◆米大リーグ・大谷翔平選手、日本選手初の本塁打王獲得
	9	◆東北大、米電気電子学会(IEEE)が歴史的偉業として認定する「マイルストーン(道標)賞」受賞	8	◆シンガー・ソングライター・谷村新司さん(74歳)死去	2	◆2023年ノーベル生理学・医学賞、「mRNA」を使用した新型コロナウイルスワクチン開発の基礎を築き米ペンシルベニア大のカタリン・カリコ特任教授、ドリュー・ワイスマン教授2氏に授与と発表
	12	◆プロ野球東北楽天、石井一久監督退任、シニアディレクター(SD)就任発表	10	◆全国銀行資金決済ネットワーク(全銀ネット)、システム障害発生	7	◆アフガニスタン西部、マグニチュード(M)6.3地震発生、2,000人超死亡
	14	◆交流拠点「深沼うみのひろば」(仙台市若林区)オープン	11	◆将棋・藤井聡太七冠、王座を奪取し初の全冠制覇	17	◆パレスチナ自治区ガザ、病院で爆発事故発生、471人死亡
	17	◆プロ野球東北楽天、新監督に今江敏晃1軍打撃コーチの就任発表	13	◆文部科学相、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の解散命令請求を東京地裁に申し立て、民法の不法行為を根拠とする解散命令請求は初	18	◆中国税関総署、9月の貿易統計(月報)で日本産魚介類輸入額がゼロ、全面禁輸措置が影響
	19	◆日本航空、メバチマグロのブランド魚「三陸塩竈ひがしもの」仙台-福岡線で初輸送	14	◆俳優・財津一郎さん(89歳)死去		
			16	◆コメ現物市場「みらい米市場」開設、取引開始		
			17	◆ジャニーズ事務所、社名「SMILE-UP(スマイルアップ)」に変更、60年以上の屋号の歴史に幕		

月	宮城県内		国内		海外	
	日		日		日	
10	31	◆SBIホールディングス（東京都）と力晶積成電子製造（P S M C、台湾）、大衡村に半導体工場建設と発表、2027年生産開始予定	17	◆トヨタ自動車、部品メーカー工場の爆発事故により愛知、三重両県6工場10ライン車両組立停止	19	◆欧州連合（E U）欧州議会、優れた人権擁護活動をたたえる「サハロフ賞」、イランでスカーフ着用巡り死亡したマフサ・アミニさん授与と発表
			17	◆N T Tビジネスソリューションズ（大阪府大阪市）、顧客情報（約900万件）不正流出と発表	27	◆中国・李克強前首相（68歳）死去
			18	◆シンガー・ソングライター・もんたよしのりさん（72歳）死去	28	◆ラグビー、第10回ワールドカップ（W杯）フランス大会、南アフリカが2大会連続優勝
			25	◆最高裁大法廷、性別変更を巡る性同一性障害特例法の規定（生殖能力要件）が違憲、無効と決定	30	◆米、人工知能（A I）のリスク管理のための大統領令発令
			26	◆日本生産性本部、2022年余暇関連市場規模62兆8,230億円（前年比12.7%増）と発表		
11	5	◆仙台市など3市の沿岸部を走る「東北・みやぎ復興マラソン2023」5年ぶり開催	3	◆大相撲・元大関朝潮、長岡未弘さん（67歳）死去	3	◆ネパール西部、マグニチュード（M）6.4の地震発生、157人死亡
	6	◆石巻市、無料通信アプリLINE（ライン）の公式アカウントを利用した住民票の写しの請求サービス開始、ラインを活用した住民票申請は県内初	5	◆プロ野球、S M B C日本シリーズ2023、阪神タイガース1985年以来38年ぶり2度目の優勝	6	◆米共有（シェア）オフィス「ウィークワーク」、米連邦破産法11条（日本の民事再生法に相当）の適用申請
	11	◆観光トレッキング「宮城オルレ」、県南初となる村田コース（村田町）オープン	6	◆トヨタ自動車、世界生産台数累計3億台達成と発表、88年2カ月で達成、国内自動車メーカーで3億台超は初	15	◆米サンフランシスコ近郊、1年ぶりとなる米中首脳会談開催
	14	◆国連世界観光機関（U N W T O）「ベスト・ツーリズム・ビレッジ（B T V）2023」、奥松島・野蒜地域（東松島市）が東北初認定	10	◆前衆院議長・細田博之さん（79歳）死去	16	◆米大リーグ・大谷翔平選手、アメリカン・リーグの最優秀選手（M V P）受賞、2度目の満票受賞はメジャー史上初
	21	◆プロ野球東北楽天・銀次内野手、現役引退	10	◆東北農政局、東北6県の2023年産水稲作柄概況（10月25日現在）、東北の作況指数101の「平年並み」（前年同期比3ポイント上昇）と発表	19	◆南米アルゼンチン大統領選、右派でリベタリアン（自由至上主義者）のハビエル・ミレイ下院議員初当選
	28	◆仙台市、ゼビオアリーナ仙台（太白区）に通年型アイススケートリンク開設と発表、2025年度の利用開始予定	11	◆歌手・大橋純子さん（73歳）死去	20	◆国連環境計画（U N E P）、2022年世界温室効果ガス排出量、前年比1.2%増で過去最多と公表
			11	◆J C B子会社「日本カードネットワーク」、システムトラブルにより全国各地でクレジットカード決済障害発生	24	◆パレスチナ自治区ガザ、イスラエル軍とイスラム組織ハマスが合意した4日間の戦闘休止開始、双方の合意に基づく休止は初
			15	◆内閣府、2023年7～9月期の国内総生産（G D P、季節調整済み）速報値、実質（物価変動除く）前期比0.5%減、年率換算2.1%減、3四半期（9カ月）ぶりマイナス	29	◆米、ヘンリー・キッシンジャー元国務長官（100歳）死去
			15	◆創価学会名誉会長・池田大作さん（95歳）死去	30	◆アラブ首長国連邦（U A E）、国連気候変動枠組み条約第28回締約国会議（C O P 28）開幕

月	宮城県内		国内		海外	
	日		日		日	
11			23	◆大阪府大阪市、兵庫県神戸市、プロ野球・阪神、オリックス、交互に優勝記念パレード開催、計100万人歓喜		
			24	◆作家・伊集院静さん（73歳）死去		
			27	◆LINEヤフー、通信アプリ「LINE（ライン）」最大44万件情報流出		
			29	◆脚本家・山田太一さん（89歳）死去		
12	4	◆藤崎（仙台市青葉区）、仙台初売りに来年の多賀城創建1300年記念の純金製バーとメダルの福袋発表、藤崎が自治体とコラボした福袋販売は初	1	◆農林水産省、2023年産米1等米比率（10月31日時点）全国平均61.3%、2004年以降過去最低記録	1	◆中国商務省、税関総署、黒鉛（グラファイト）の輸出規制発動
	8	◆市都心再構築プロジェクトを活用した再開発ビル第1号となる「アーバンネット仙台中央ビル」（仙台市青葉区）完成	1	◆「現代用語の基礎知識選2023 ユーキャン新語・流行語大賞」、年間大賞「アレ（A.R.E）」受賞	1	◆パレスチナ自治区ガザ、イスラエル軍とイスラム組織ハマス戦闘再開、戦闘休止7日間で終了
	10	◆仙台市消防局、2023年救急車出動件数（速報値、12月10日時点）、6万801件となり過去最多記録	1	◆「道の駅やまがた蔵王」（山形県山形市）開業	2	◆フィリピン付近、マグニチュード（M）7.7の地震発生
	12	◆東北農政局、2023年産水稻の作柄概況（確定値）、県別の作況指数で宮城県が105と全国で最高となる	4	◆ぐるなび総研（東京都）、2023年の世相を最も反映した「今年の一皿」に「ご馳走おにぎり」選出と発表	6	◆米軍、空軍や海軍、海兵隊を含め全てのオスプレイの飛行を世界中で一時的停止
	12	◆仙台空港（名取市、岩沼市）、マレーシア航空、仙台便初運航、年末年始にかけ計5往復	5	◆LINEヤフー「Yahoo! 検索大賞2023」、大賞に米大リーグの大谷翔平選手と発表	8	◆米アップル、2021～2022年間世界の個人データの漏えい件数、計26億件と発表
	21	◆青果物小売・卸売業の今庄青果（仙台市青葉区）自己破産申請	6	◆タレント・島崎俊郎さん（68歳）死去	9	◆米大リーグ・大谷翔平選手、ロサンゼルス・ドジャースに移籍と発表、契約は10年総額7億ドル（約1,015億円）、世界のスポーツ史上最高額となる
	23	◆仙台空港（名取市、岩沼市）、中国国際航空の仙台-上海線運航再開、3年10カ月ぶり	7	◆「日本カー・オブ・ザ・イヤー」実行委員会、2023年間で最も優れた乗用車にトヨタ自動車のハイブリッド車（HV）「プリウス」選出と発表	18	◆中国内陸部、マグニチュード（M）6.2地震発生、127人死亡
			12	◆日本漢字能力検定協会（京都府京都市）、2023年「今年の漢字」を「税」と発表		
			20	◆東芝、東京証券取引所での株取引終了し上場廃止、74年の上場の歴史に幕		
			20	◆ダイハツ工業の品質不正発覚、ダイハツ全車種出荷停止、トヨタ自動車も一部車種出荷停止		
			20	◆環境省、福島県大熊、双葉両町の特定帰還居住区域で除染作業開始、特定帰還居住区域の除染は初		

月	日	宮 城 県 内	国 内		海 外	
			日		日	
12			26	◆ボクシング・井上尚弥選手、史上2人目の2階級での主要4団体王座統一成功		
			28	◆米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への移設巡り、国が初の代執行		
			29	◆東京株式市場大納会、日経平均株価（225種）終値3万3,464円17銭、年末としては34年ぶりの高値、史上2番目		

資料：河北新報ほか



77R&C

編集

後記

～ 残されたわれわれの「一年の計」～

新年早々の心痛む災害や事故、犠牲者のご冥福をお祈りし、被災者へのお見舞いを申し上げます。一年の計は元旦にあり、希望を語るその日に自然の脅威を目の当たりにすると否が応でも無常感・虚無感に襲われ、人命救助や応急措置などは自衛隊や消防・警察、DMATなどに任せて祈るよりほかない無力さにも苛まれます。しかし、残された者が意気消沈してばかりいるのを見て喜ぶ犠牲者はいないでしょう。「彼らの分まで頑張る」と誓うことは誰もが掲げるべき一年の計であり、与えられた毎日に全力を尽くすことこそが最大の鎮魂になるはずです。

(田口 庸友)